

宮城畜試

No.6 - 2

資料

ISSN 0914-9686

令和6年度

宮城県畜産試験場年報

2025年8月

宮城県畜産試験場

は し が き

この年報は、宮城県畜産試験場において、
令和6年度に実施した業務の概要についてま
とめたものであり、関係各位の参考になれば
幸いに存じます。

令和7年8月

宮城県畜産試験場

場 長 菊 地 武

目 次

I 試験研究の展望

1. 試験研究の実施概要	1
2. 試験研究課題一覧	3

II 試験研究の紹介

1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立	5
2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究 (牛)	5
3. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究	5
4. アグリテック活用推進事業	5
5. 牛の受精卵移植技術の実証	6
6. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究	6
7. 運動良好精子選別によるウシ顕微授精技術の検討	6
8. 優良種豚供給体制の確立	7
9. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究 (豚)	7
10. 本県産系統豚の能力向上技術の確立	7
11. 薬剤削減のための豚腸-肺免疫連関実証事業	8
12. 飼料作物・牧草適応品種の選定	8
13. 子実用トウモロコシを導入した高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築	8
14. 気象変動に対応した飼料作物の栽培	8
15. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立	9
16. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討	9
17. その他	9

III 研究発表、広報、普及活動および研修等

1. 職員の研究発表一覧	11
2. 広報・普及活動 (講習会・研修会)	13
3. 会議関係	15
4. 出版物	19
5. 研修	19
6. 普及に移す技術、参考資料	20
7. 畜産試験場成果報告会	20

IV 業務の概要

1. 家畜の飼養状況	22
2. 飼養種畜名簿	24
3. 生産物の状況	42
4. 牧草・飼料作物の生産	43
5. 気象経過	45

V 総務

1. 沿革	47
2. 機構	49
3. 会計	51
4. 県有財産	54

I 試験研究の展望

1. 試験研究の実施概要

(1) 酪農肉牛部

令和6年度に実施した試験研究は、乳牛チーム1課題、肉牛チーム4課題、バイオテクノロジー研究チーム5課題（肉牛チーム共通2課題含む）で、うち新規課題は2課題である。

乳牛チーム関係では、「乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立」において、ICT機器を活用した飼養管理の検証ではICTを活用することにより受胎率の向上が期待できた。また、哺乳子牛への初乳製剤の給与期間の延長は、免疫グロブリン値を上昇させ、疾病に対し抵抗性を付与している可能性が示唆された。

肉牛チーム関係では「DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究」において、訓練群の生年を条件に訓練群を再構築し、ゲノミック育種価（GEBV）の推定精度を比較した。肥育牛の比較的若い個体で構成された訓練群による推定精度は、高い傾向が見られた。一方で、生年以外にも推定精度に影響を与える要因がある可能性が考えられた。

バイオテクノロジー研究チーム関係では、「牛の受精卵移植技術の実証に関する研究」において、経膈採卵（OPU）により作出した胚盤胞期胚を自動植氷ストローおよび通常ストローによる手動植氷で凍結保存した。融解後24時間および48時間での生存率、48時間での透明帯からの脱出率においても有意な差は認められなかった。以上の結果より、自動植氷ストローを用いても手動植氷と同等の成績であったことから、牛の胚を凍結保存する場合の省力化につながる事が判明した。

(2) 種豚家きん部

令和6年度に実施した試験研究は、原種豚チーム3課題、養豚家きんチーム2課題（両チーム共通1課題含む）である。

種豚家きん部共通課題である「優良種豚供給体制の確立」では、系統豚「ミヤギノL2」と系統豚「しもふりレッド」の維持群の能力調査を実施し維持・増殖を図るとともに、「ミヤギノL2」育成雌4頭、「しもふりレッド」育成雄15頭、育成雌30頭、家畜人工授精用液状精液6,405本を配布した。

原種豚チーム関係では、「DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究」において、パターン認識受容体NLRP3遺伝子多型と「ミヤギノL2」肥育豚の発育成績の関連を調査した結果、雄ではAA型と比較してAG型で一日平均増体量が有意に高値となったが、豚回虫症が交絡因子となっていることが推察された。

「薬剤削減のための豚腸-肺免疫連関実証事業」では、離乳子豚にワカメ粉末および乳酸菌培養液を給与した結果、ワカメ粉末の給与により子豚の免疫能が向上する可能性が示された。

養豚家きんチーム関係では、「本県産系統豚の能力向上技術の確立」において、「しもふりレッド」の哺乳子豚の飼料に5-アミノレブリン酸を添加給与したところ、腸管でのIgA産生を促進し、免疫能に好ましい影響を与える可能性が示唆された。

さらに、ミヤギノL2（L種）、しもふりレッド（D種）及びそれら系統豚から作出された交雑種（LWD種）の3品種のロース肉について網羅的解析を行った結果、LWD区とD区において特異的に検出されたピークの分子量と候補化合物が判明した。

(3) 草地飼料部

令和6年度に実施した試験研究は、草地飼料チーム4課題、環境資源チーム2課題（両チーム共通1課題含む。）で、うち新規課題は1課題である。

草地飼料部関係の共通課題である、「除染後の牧草地における草地管理技術の確立」において、放射性物質の移行低減技術を検討した。一年間カリウム無施肥で管理した結果、土壌中カリウム含量は低下し、放射性セシウム（以下「RCs」）は高まった。ゼオライト施用等の処理効果は判然としなかった。また、化成肥料の施肥は、牧草の収量が多いが収穫によるカリの持出量も増えた。堆肥区の施肥量を昨年度の10aあたり1トンから2トンに増やしたためか、3番草の土壌中のカリ濃度で堆肥区が無施肥区より低くなり、牧草中のRCs濃度も少し高くなった。

草地飼料チーム関係では、「飼料作物・牧草適応品種の選定」において、飼料用トウモロコシで県奨励品種となる1品種が選定された。「子実用トウモロコシを導入した高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築」において、RMの違いによる子実収量への影響が少ないこと、収穫適期経過2週間後には、子実中フモニシン濃度が上昇する可能性が示唆された。「気象変動に対応した飼料作物の栽培」において、フロストシーディングは、春播種と同等の初期成育等を示した。ワルナスビは塩素酸塩粒剤の散布により地上部は萎縮等を生じたものの枯死しなかった。

環境資源チーム関係では、「堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討」において、肥料散布の省力化を図るため、野菜の基肥一発肥料を目指した指定混合肥料を試作し、ブロッコリーの栽培試験で、基肥一発区は慣行施肥区と比較して同程度の

収量が得られ、肥料代や化学肥料利用量が低減することが示唆された。

2 試験研究課題一覧

(1) 家畜関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立	県単受託	令5～令9	酪農肉牛部・乳牛チーム
2. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(牛)	県 単	平11～	酪農肉牛部・肉牛チーム
3. 効率的な黒毛和種種雄牛造成とその活用法に関する研究	県 単	平15～	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
4. アグリテック活用推進事業	県 単	令3～令6	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
5. 牛の受精卵移植技術の実証	県 単	昭58～	酪農肉牛部・ ・バイオテクノロジー研究チーム
6. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究	受 託	令5～令7	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
7. 運動良好精子選別によるウシ顕微授精技術の検討	受 託	令6	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
8. 優良種豚供給体制の確立	県 単	平21～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
9. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(豚)	県 単	平8～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
10. 本県産系統豚の能力向上技術の確立	県 単	令2～令6	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
11. 薬剤削減のための豚腸-胚免疫連関実証事業	受 託	令6～令8	種豚家きん部・原種豚チーム

(2) 草地飼料作関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 飼料作物・牧草適応品種の選定	県単受託	昭 57～	草地飼料部・草地飼料チーム
2. 子実用トウモロコシを導入した高収益 ・低投入型ブロックローテーション 体系の構築	受 託	令 5～令 7	草地飼料部・草地飼料チーム
3. 気象変動に対応した飼料作物の栽培	県 単	令 3～令 7	草地飼料部・草地飼料チーム
4. 除染後の牧草地における草地管理技術 の確立	県単受託	令 5～令 7	草地飼料部・草地飼料チーム ・環境資源チーム
5. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等 入り指定混合肥料」の製造及び利用方 法の検討	県 単	令 4～令 6	草地飼料部・環境資源チーム

(3) その他

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 肉用種雄牛の検定	県 単	昭 55～	酪農肉牛部・肉牛チーム

Ⅱ 試験研究の紹介

1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立

乳用牛の繁殖成績の向上および疾病の予防・早期治療を目的として、ICT 機器等を活用した飼養管理の検証を行った。繁殖成績では ICT 機器による初回発情の検知率は 61.5%であり、初回発情の発見に一定の寄与が示された。疾病関係では、運動量の解析において、悪露停滞および蹄病の早期発見や乳成分との関連性はみられなかった。軽度の疾病や発症初期では、明確な行動パターンの変化がみられない可能性が示唆された。

初乳製剤の給与による子牛の疾病予防および発育改善効果の検証では、初乳の移行乳製剤を 1～2 週間延長給与することにより、免疫グロブリン値を有意に上昇させ、疾病の発生件数および治療日数から疾病に対する抵抗性を付与している可能性が示唆された。

2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(牛)

ゲノミック育種価の推定精度に影響を与える要因を調査し、効果的な訓練群の構成を検討することを目的とし、今年度は訓練群の生年について検討した。その結果、肥育牛の比較的若い個体で構成された訓練群の推定精度は高い傾向がみられた。一方で、生年以外にも推定精度に影響を与える要因がある可能性が考えられた。

3. 効率的な黒毛和種種雄牛造成とその活用法に関する研究

種雄牛の造成・選抜には、長い期間と多くの費用を要する。そのため、子牛市場の体尺

測定値、食肉市場の産肉成績、さらに体外受精技術を組み合わせることにより、短期で効率的な種雄牛能力評価法について検証した。

現場後代検定第 7 回次以降の産肉形質および脂肪の質の育種価推定を行った。候補種雄牛 48 頭の育種価は、オレイン酸および MUFA の最大値が+3.18 および+2.73、最小値が-2.54 および-2.43 であった。第 19 回現場後代検定により基幹種雄牛に選抜された 3 頭のオレイン酸および MUFA の育種価推定値は、+0.8~-1.5 および+0.9~-1.1 であった。

牛の体外受精技術により子牛を生産・肥育して産肉成績を調査し、黒毛和種候補種雄牛産肉能力検定の可能性を実証した。

「茂勝久」号の体外受精産子は 5 頭(肥育直後の死亡除く)の肥育が終了し、枝肉重量 629kg、BMS No.10、肉質等級 A5 率は 100 %であった。「華福久」号の体外受精卵産子 7 頭は現在肥育中である。

4. アグリテック活用推進事業

「仙台牛」の食味やおいしさに関連する脂肪酸組成等について、新たな価値と科学的指標について検討を行った。また、遺伝子情報の利用による改良手法を開発するとともに、「仙台牛」の需要・生産の拡大と「仙台牛」の素牛の改良速度向上について検証を実施した。

「仙台牛」の食味特性の探索とその向上については、仙台牛および仙台黒毛和牛のリブローズを用い、ゆで調理した牛肉成分の MUFA 割合および格付けの違う 4 つのサンプルについて、嗜好型官能評価を行った。その結果、食感の好ましさに関わる評点については、低 MUFA 5 等級の方が低 MUFA 4 等

級に比べ有意に高かった。また、好ましさに影響を与える用語については、全体評価は「ほんのり甘い」、「脂肪ののった」、「かみ切りやすい」が有意にプラスの影響を与えていることが示された。

ゲノミック評価による新たな形質評価の実用化については、脂肪酸組成を対象として ssGBLUP 法と GBLUP 法を比較した結果、GBLUP 法と ssGBLUP 法による推定では、分散成分および育種価に大きな差がみられなかった。したがって、血統情報を必要としない GBLUP 法により、後代を削除した種雄牛の評価を行ったところ、推定育種価と高い相関が得られたことから、GBLUP 法は後代がない牛の能力評価に有用であると考えられた。

ゲノミック評価による肉用牛の改良の加速化については、これまで受精卵からのバイオプシー等採材細胞を用いた SNP 解析および産肉能力のゲノム育種価評価の精度は明らかではなく、受精卵ゲノム選抜技術の実用化を検討するため、本研究では、移植前の受精卵の段階で遺伝子評価を行い、高い能力が期待できる受精卵を選択して移植することで、さらなる改良速度の向上を目指した。バイオプシー後および凍結融解後の胚の培養でシステアミン塩酸塩を用いることで、バイオプシー後および凍結融解後の胚の生存性が向上した。また、採材した細胞の品質が良好であれば SNP 解析はどのステージでも可能であった。全きょうだい受精卵のゲノム育種価にはばらつきが認められた。事前に採取した細胞と生まれた産子について SNP 解析を実施、ゲノム育種価は概ね一致していた。受精卵段階で全きょうだいの産肉能力の遺伝的能力の差異を識別できれば育種改良に有益であることが示

された。

5. 牛の受精卵移植技術の実証

自動植氷ストローを使用し牛体外胚の凍結融解後の生存性に及ぼす影響について調査した。OPU により作出した胚盤胞期胚を自動植氷ストローおよび通常ストローによる手動植氷で凍結保存し比較検討した。融解後 24 時間および 48 時間での生存率、48 時間での透明帯からの脱出率においても有意な差は認められなかった。以上の結果より、自動植氷ストローを用いても手動植氷と同等の成績であったことから牛の胚を凍結保存する場合の省力化につながる事が判明した。

6. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究

乾燥して体内の大部分の水分を喪失しても、生存可能な生物は存在することが知られている。極限的な乾燥下でのガラス化は「乾眠」と呼ばれ、乾眠動物は水分が供給されると再び生命活動を開始する。牛をモデルとして精子の乾燥耐性能力を細胞生物学および物性的に検討し、「乾燥しても生存する細胞」を実現するための研究を行う。フリーズドライ (FD) 精子を使用し顕微授精することで現在のフリーズドライ技術を再確認し、顕微授精後の胚発生成績を検討した。卵割率および桑実胚率は凍結融解精子で有意に高い成績であったが、胚盤胞率に有意な差はなかった。胚盤胞の栄養膜細胞数は凍結融解精子由来胚盤胞において有意に多い結果が得られた。

7. 運動良好精子選別によるウシ顕微授精技術の検討

運動性の高い精子を選別し顕微授精することで胚発生成績が改善できるのではないかと考え、パーコール処理で運動良好精子を選別し顕微授精することにより胚発生成績が改善可能かどうか検討した。5頭の種雄牛における体外受精成績を検討した結果、1頭において体外受精成績の低い種雄牛が存在することが明らかとなった。その種雄牛の胚生産性向上を目的として、パーコールにて運動良好精子を選別し顕微授精後の胚発生成績を検討した。

パーコールで選別した運動良好精子を顕微授精することで通常の体外受精よりも多くの胚が生産されるとともに、第一卵割時間が早くなることで胚生産効率が高くなることが明らかとなった。したがって、体外受精において卵割率および胚盤胞率の低い種雄牛の胚発生成績の改善の一つの方法として有効であることが示唆された。

8. 優良種豚供給体制の確立

国内外の産地間競争に打ち勝ち、養豚主産地としての本県の生産体制を確固たるものにするため、発育性・産肉性および肉質に優れた系統豚「しもふりレッド(デュロック種)」と繁殖性および抗病性に優れた系統豚「ミヤギノL2(ランドレース種)」の維持・増殖を行い、県内養豚農家へ配布した。

系統豚しもふりレッドは雄 20 頭、雌 33 頭の規模で維持・増殖し、種豚は育成雄 15 頭、育成雌 30 頭の合計 45 頭、家畜人工授精用液状精液は 6,405 本を県内養豚農家等に配布した。系統豚ミヤギノL2は雄 10 頭、雌 21 頭の規模で維持し、育成雌 54 頭を県内養豚農家に配布した。

今後は、系統豚「ミヤギノL2」および系統豚「しもふりレッド」の繁殖性・産肉性・

抗病性等の特質に配慮しながら維持・増殖を図り、農家の要望に応じた種豚および家畜人工授精用液状精液の配布を推進する。

9. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(豚)

ランドレース種系統豚「ミヤギノL2」について、出現する遺伝的疾患や生産形質に関連するといわれる DNA マーカーの多型を調べ、各形質との関連を調査した。

パターン認識受容体 NLRP3 の一塩基多型とランドレース種系統豚「ミヤギノL2」子豚の発育性の関連を調査したところ、雄では1日平均増体量についてAG型がAA型と比較して優位に高値であったが、豚回虫症が発育に影響している可能性が示唆された。NLRP3 遺伝子型間での免疫能の違いについては、出荷豚の肺病変割合がGG型で20%、AG型で12%、AA型で20%となった。また *Pasteurella multocida* トキソイドワクチンおよび *Mycoplasma hyopneumoniae* 不活化ワクチンでは遺伝子型間で有意差はみられなかった。鼻汁中 IgA 濃度においてAA型がAG型と比較し優位に高値であった。今後は、複数年度にわたって出荷豚の情報を蓄積するとともに、ワクチン抗体価についてはアジュバント別の免疫反応を検討する必要がある。

10. 本県産系統豚の能力向上技術の確立

デュロック種系統豚「しもふりレッド」の優れた肉質を維持しつつ、繁殖能力を向上させる飼養管理技術の開発を行った。また、「しもふりレッド」と国内外で生産される豚肉の差別化を図るため、筋肉内脂肪含量以外のおいしさにつながる新たな肉質評価

指標を探索した。

哺乳子豚へアミノ酸の一種でヘムの前駆物質である5-アミノレブリン酸を添加給与したところ、発腸管でのIgA産生を促進し、免疫能に好ましい影響を与える可能性が示唆された。また、ミヤギノL2(L種)、しもふりレッド(D種)及びそれら系統豚から作出された交雑種(LWD種)の3品種のロース肉について甘味に関する理化学成分を探索するため、飛行時間型質量分析計(TOF-MS)による網羅的解析を行った結果、LWD区とD区において特異的に検出されたピークの分子量と候補化合物が判明した。

11 薬剤削減のための豚腸-肺免疫関連実証事業

豚が本来有する免疫能を増強させる飼料添加物の活用および飼養管理による総合的な抗病性向上手法を確立するため、ワカメ粉末と乳酸菌を子豚へ給与し、子豚の発育や免疫能および腸管免疫刺激が呼吸器免疫にも影響を与える腸-肺免疫関連について検証した。

ランドレース種系統豚「ミヤギノL2」の離乳子豚にワカメ粉末および乳酸菌培養液を給与した結果、発育に影響は認められなかった。一方で15週齢での唾液中IgA濃度がワカメ非給与区と比較してワカメ給与区が有意に高値を示した。このことから、ワカメ粉末の給与によって子豚の免疫能を向上する可能性が示唆された。また抗病性改良DNAマーカーであるNLRP3について解析した結果、15週齢での唾液中IgA濃度がAA型と比較してGG型の方が有意に高値であった。(G型が機能亢進型)

今後は腸-肺免疫関連の実証のためより腸および呼吸器の免疫能について検証する。

12. 飼料作物・牧草適応品種の選定

宮城県での栽培における適応性を検討し、成績が優れた品種を選出して奨励品種選定の資料とすることを目的とし生育特性および生産性について、調査を行った。

飼料用トウモロコシホールクロップサイレージ用6品種と子実用8品種を対象に生育特性・耐病性および収量調査を行い、本試験の結果から「ゴールドデントKD460(子実利用型)」が本県奨励品種として認定された。

オーチャードグラス4品種について利用2年目の生育特性、収量性を調査した。極早生品種「まきばゆうか」は標準品種と同程度の成績であったが、中生品種「きよは」は収量性に優れていた。

13. 子実用トウモロコシを導入した高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築

新たな転作作物として子実用トウモロコシを輪作体系に導入するため、水田における栽培技術の確立に向けて検討を行った。

品種比較試験では、RMの異なる3品種を供試し、RMの違いが子実収量へ与える影響は小さいことが示唆され、立毛試験では、収穫適期経過後の立毛状態での子実中フモニシン濃度の推移を調査し、適期経過2週間後にはフモニシン濃度が上昇する可能性が示唆された。

14. 気象変動に対応した飼料作物の栽培

近年の地球温暖化により、気象災害や高温による収量や品質の低下が起きている。そこで、強害雑草の防除と播種時期が遅れた場合の栽培体系について本県における有

用性・適応性を検証した。

フロストシーディング(12月播種)は、初期生育、越夏前の収量ともに春播種(3月播種)と同等の成績であった。フロストシーディング、春播種ともにヒエ等の雑草の発生、夏期高温等の影響により越夏個体数は9月播種より少なかった。

ワルナスビは塩素酸塩粒剤の散布により地上部は萎縮等を生じたものの枯死しなかった。イタリアンライグラスの発芽・生育に影響はなかった。

15. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立

放射性セシウム(以下RCs)に汚染された草地において、除染後も暫定許容値を超えるRCsが検出される要因を解析するとともに、RCs吸収抑制対策のカリなどの土壌成分を効率的に回復させる施肥方法について検討した。

除染草地における超過要因解析と対策技術の開発については、令和4年度造成し、令和5年度にRCsが低く維持されたほ場を一年間カリウム無施肥で管理し、土壌中カリウム含量とRCsの関係を観察した。土壌中カリウムが下がるとRCsは高くなった。造成時に施用したゼオライトの効果は判然としなかった。

除染後牧草地の維持管理技術の確立については、化成肥料の施肥は、牧草の収量が多いが収穫によるカリの持出量も増えた。堆肥区の施肥量を昨年度の10aあたり1トンから2トンに増やしたためか、3番草の土壌中のカリ濃度で堆肥区が無施肥区より低くなり、牧草中のRCs濃度も少し高くなった。

16. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等

入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討

家畜ふん尿堆肥の利用促進のため、広く利用希望者のニーズに合う、取り扱いやすい新肥料としての堆肥の試作とその肥効等の調査研究を実施した。

肥料散布の省力化を図るため、野菜の基肥一発肥料を目指した指定混合肥料を試作し、ブロッコリーの栽培試験で、基肥一発区は慣行施肥区と比較して同程度の収量が得られ、肥料代や化学肥料利用量が低減することが示唆された。

17. その他

肉用種雄牛の検定

肉用牛の経済能力を改良するため、優れた遺伝能力を備えた種雄牛を造成する。このため、交配する繁殖雌牛群の整備、計画交配、候補牛の選定、産肉能力直接検定及び現場後代検定を実施し、能力による選抜を行った。

新たな基幹種雄牛として、「百合博」、「孝糸波」および「茂勝久」の3頭が基幹種雄牛に選ばれた。県内畜産農家に対して当場に繋養している基幹種雄牛の凍結精液を約1万6千本供給した。また、直接検定成績から新たに候補種雄牛を4頭選抜し、現場後代検定に向けて調整交配を開始した。

Ⅲ 研究発表、広報、普及活動および研修等

1. 職員の研究発表一覧

(1) 論文

題名	発表者	誌名	巻号頁	年月
[酪農肉牛部] Elevated levels of cyclophilin A secreted in milk during bovine mastitis	Satoru Takanashi, Kozue Yoshimura, Yuma Endo, Megumi Urakawa, Hidetoshi Sato , Tao Zhuang, Tomohito Hayashi, Yoshio Kiku, Yuya Nagasawa, Haruki Kitazawa, Michael T. Rose, Yoshinobu Uemoto, Kouichi Watanabe, Tomonori Nochi, and Hisashi Aso	J. Dairy Sci.	J. Dairy Sci. 108:835-844 https://doi.org/10.3168/jds.2024-24715	2025年1月 (雑誌)

(2) 口頭発表

題名	発表者	会名	発表年月日 および場所	発表誌等
[酪農肉牛部] 初乳製剤の延長給与による子牛の疾病予防および発育改善効果の検証	福田純子 ・ 石黒裕敏	第73回東北畜産学会青森大会	2024. 8. 29 青森市	東北畜産学会報 2024 Vol. 74 No2 第73回大会号
黒毛和種経産牛の過剰排卵技術における ICT の活用	佐藤秀俊 ・ 及川俊徳	第 117 回日本繁殖生物学会大会	2024. 9. 24 名古屋大学	The Journal of Reproduction and Development Vol. 70
ヒアルロン酸溶液を溶媒とした黒毛和種の過剰排卵処置方法の検討	湯本森矢 ・ 佐藤秀俊 ・ 中村太郎 ・ 青森大輝 ・ 堀内早苗 ・ 高橋透	第 8 回日本胚移植技術研究会長野県大会	2024. 10. 31 長野市	第 8 回日本胚移植技術研究会長野県大会講演要旨

<p>[種豚家きん部]</p> <p>デュロック種系統豚「しもふりレッド」における近交度の上昇および世代経過が繁殖性に及ぼす影響</p>	庄司宙希	第 121 回日本養豚学会大会	2024. 11. 1 東海大学 阿蘇くまもと臨空キャンパス	日本養豚学会誌 第61巻 第4号
<p>[草地飼料部]</p> <p>機能性を追求した混合堆肥複合肥料の製造と利用方法の検討</p>	荒木利幸	第 27 回日本水環境学会シンポジウム	2024. 9. 11 ～13 岩手大学	第 27 回日本水環境学会シンポジウム講演集 2024 P191

(3) 雑誌等

題名	発表者	誌名	巻号頁	発行年月
<p>[酪農肉牛部]</p> <p>第 19 回現場後代検定成績</p>	高橋弘晃	畜産みやぎ	第 327 号 p9	2024. 7
枯草菌含有飼料添加物の給与効果	福田純子 (東北大学 麻生久氏と 共著)	デーリィーマ ン	9月号 p42-44	2024. 9
移行乳サプリメントの生後一週間給与が乳用子牛の免疫状態へ与える影響	福田純子	畜産みやぎ	第 330 号 p8	2025. 1
<p>[種豚家きん部]</p> <p>宮城県養豚研究会研究集会 令和 6 年度第 1 回開催報告</p>	庄司宙希	畜産みやぎ	第 328 号 P6	2024. 9
<p>宮城県養豚研究会研究集会 令和 6 年度第 2 回開催報告</p>	庄司宙希	畜産みやぎ	第 331 号 P10	2025. 4
<p>[草地飼料部]</p> <p>混合堆肥複合肥料の作製とペレット化 技術</p>	荒木利幸	「みどりの食 料システム戦 略」技術カタ ログ	Ver4. 0	2024. 4
「特殊肥料等入り指定混合肥料」による堆肥の利用拡大について	荒木利幸	畜産みやぎ	第 326 号 p5	2024. 5

令和5・6年の夏期の高温と畜産試験場の牧草の夏枯れについて	天野祐敏	畜産みやぎ	第329号	2024.11
混合堆肥複合肥料の作製とペレット化技術の検討	荒木利幸	作物生産と土づくり	2024年10・11月号Vol.56 No.583 p14-19	2024.11

2. 広報・普及活動（講習会・研修会）

題 目	講 師	主 催 者	開催年月日	開催場所	参加人数
[酪農肉牛部] みやぎ加美和牛改良組合小野田支部講習会	佐々木孔亮	みやぎ加美和牛改良組合小野田支部	2024.5.22	加美町	10人
畜産経営担い手育成事業（研修生）に係る講習会	佐々木孔亮	公益社団法人みやぎ農業振興公社白石牧場	2024.6.25	白石牧場	8人
家畜人工授精師講習会	石黒裕敏・及川俊徳・佐藤秀俊・佐々木孔亮	畜産課	2024.7.2～8.6	大崎市	15人
令和6年度宮城県家畜人工授精師協会仙台支部研修会	高橋弘晃	宮城県家畜人工授精師協会仙台支部	2024.7.9	仙台市	18人
令和6年度宮城県家畜人工授精師協会登米支部研修会	高橋弘晃	宮城県家畜人工授精師協会登米支部	2024.11.19	登米市	20人
宮城県基幹種雄牛「孝糸波」号認定および宮城県総合畜産共進会「肉用牛の部」農林水産大臣賞受賞祝賀会記念講演会	高橋弘晃	丸森町和牛改良組合	2024.11.20	丸森町	50人
役員並びに推進委員合同研修会	高橋弘晃	古川農業協同組合、古川和牛改良組合	2024.11.22	大崎市	18人

令和6年度みやぎ総合家畜市場運営連絡協議会	佐々木孔亮	みやぎ総合家畜市場運営連絡協議会	2024.12.18	大崎市	80人
令和6年度大崎和牛改良推進組合「勝美桜1」産子食味会	高橋弘晃	大崎市	2024.12.23	大崎市	37人
令和6年度支部講習会	佐々木孔亮	宮城県家畜人工授精師協会大崎支部	2025.1.24	みやぎ総合家畜市場	18人
令和6年度登米和牛育種組合産子検査員・事務局合同研修会	高橋弘晃	登米和牛育種組合	2025.1.24	みやぎ総合家畜市場	30人
令和6年度あさひな和牛改良組合大衡支部研修会	高橋弘晃	あさひな和牛改良組合大衡支部	2025.1.27	畜産試験場	15人
宮城県家畜人工授精師協会石巻支部講習会	石黒裕敏	宮城県家畜人工授精師協会石巻支部	2025.2.20	石巻市	18人
令和6年度みやぎ総合家畜市場運営連絡協議会子牛市場山形買参者会議	佐々木孔亮	みやぎ総合家畜市場運営連絡協議会	2025.2.27	山形県	39人
みやぎ加美和牛改良組合小野田支部講習会	高橋弘晃	みやぎ加美和牛改良組合小野田支部	2025.3.7	加美町	25人
玉造和牛改良組合研修会	小宮亮太	玉造和牛改良組合いわでやま支部・西大崎支部	2025.3.13	大崎市	15人
[草地飼料部] 令和6年度 栽培・飼養技術基礎研修会	佐藤俊益	宮城県農業協同組合中央会	2024.8.6	仙台市 JAビル	15人

JA加美よつば ねぎ部会栽培講習会（エコ堆くんと化学肥料を混合した指定混合肥料の試験結果について）	荒木利幸	JA加美よつばねぎ部会	2024. 12. 3	JA加美よつば営農センター	46 人
加美町酪農振興連絡協議会研修会	天野祐敏	加美町酪農振興連絡協議会	2024. 12. 11	加美町	20 人
令和 6 年度子実用とうもろこし生産拡大に向けた実績検討会	杉本達郎	涌谷町	2025. 1. 23	涌谷町	50 人
令和 6 年度宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会（堆肥の利用拡大に向けた「指定混合肥料」について）	荒木利幸	農業振興課、農業・園芸総合研究所、古川農業試験場、畜産試験場	2025. 2. 21	自治会館	123 人
JA 加美よつば令和 6 年度和牛講演会	天野祐敏	JA 加美よつば	2025. 2. 25	加美町	50 人

3. 会議関係

会議名	出席者	参集範囲	開催月日	開催場所
[全体] 令和 6 年度東北農業試験研究推進会議・畜産飼料作推進部会冬期研究会	佐藤俊益・小林朋生・天野祐敏・杉本達郎・荒木利幸	東北農業研究センター・東北 6 県	2025. 1. 28 ～29	岩手県盛岡市 アイーナ（いわて県民情報交流センター）
令和 6 年度第 69 回宮城県家畜保健衛生業績発表会	小林朋生・荒木利幸・武田正寛・佐藤俊益	宮城県	2025. 1. 31	宮城県 県庁
[酪農肉牛部] 令和 6 年度牛群検定推進ブロック会議	羽鳥連	乳用牛改良推進協議会、公設試、その他	2024. 9. 5～ 6	宮城県 TKP 仙台 西口ビジネスセンター

日本中央競馬会畜産振興事業 (R5～R7) 乳牛の乳房炎発症予防 法と抗病性育種開発事業 第2回 課題担当者会議(実証試験)実務 者会議	福田純子・羽 鳥連	東北大学、農研 機構、公設試	2024. 11. 7	宮城県 東北大学 (Web 参加)
日本中央競馬会畜産振興事業 (R5～R7) 乳牛の乳房炎発症予防 法と抗病性育種開発事業 令和6 年度第1回開発推進評価会議	福田純子	東北大学、農研 機構、公設試	2024. 11. 14	宮城県 東北大学
令和6年度食肉・鶏卵・乳製品の 官能評価ワークショップ 本編	佐々木孔亮	農研機構、公設 試、他	2024. 11. 20 ～22	茨城県 農研機構 畜産研究部門
令和6年度食肉・鶏卵・乳製品の 官能評価ワークショップ 発展編	佐々木孔亮	農研機構、公設 試、他	2024. 11. 26	茨城県 農研機構 主催 (Web 参加)
令和6年度牛群検定推進ブロッ ク会議	羽鳥連	乳用牛改良推進 協議会、公設 試、その他	2025. 2. 13 ～14	東京都 TKP 東京 駅カンファレンス センター
令和6年度現場後代検定合同調査 会	高橋弘晃・佐 々木孔亮	全国和牛登録協 会各支部、他	2025. 2. 19 ～21	京都府 全国和牛 登録協会主催
令和6年度全国DNA育種推進会議 (共同研究関係機関試験研究検討 会)	小宮亮太	家畜改良センタ ー、公設試、他	2025. 3. 6～ 7	福島県 家畜改良 センター中央畜産 研修施設
日本中央競馬会畜産振興事業 (R5～R7) 乳牛の乳房炎発症予防 法と抗病性育種開発事業 第5回 実証試験担当者会議	福田純子・羽 鳥連	東北大学、農研 機構、公設試	2025. 3. 10	宮城県 東北大学 (Web 参加)
令和6年度受精卵移植関連新技術 全国会議	及川俊徳・佐 藤秀俊	全国	2025. 03. 12	茨城県 農研機構 畜産研究部門主催 (Web 参加)

令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業 乳牛の乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業 令和6年度第2回開発推進評価会議	福田純子・羽鳥連	東北大学、農研機構、公設試	2025. 3. 13	宮城県 東北大学
第52回東北酪農青年女性会議 酪農発表大会	石黒裕敏	東北6県	2025. 3. 24	仙台市 ホテルニュー水戸屋
[種豚家さん部] 日本中央競馬会畜産振興事業 (R6~R8) 薬剤削減のための豚腸一肺免疫関連実証事業 令和6年度第1回研究推進評価会議 令和6年度豚の新育種技術に関する研究会	曾地雄一郎、 ・今井勇志 今井勇志・庄司宙希	東北大学、農研機構、岐阜県畜産試験場他 農研機構、日本養豚協会、農林水産省、家畜改良センター、公設試、大学、民間種豚場	2024. 7. 3 2024. 7. 11 ~12	宮城県 東北大学 茨城県 文部科学省研究交流センター国際会議場
日本中央競馬会畜産振興事業 (R6~R8) 薬剤削減のための豚腸一肺免疫関連実証事業 令和6年度第2回研究推進評価会議	曾地雄一郎、 ・今井勇志	東北大学、農研機構、岐阜県畜産試験場他	2025. 3. 14	宮城県 東北大学
[草地飼料部] 「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」小課題3-2 設計検討会	天野祐敏	農研機構、4県	2024. 4. 15	農研機構畜産研究部門 (Web 参加)
自給飼料生産総合推進事業に係る担当者会議	天野祐敏・杉本達郎	宮城県	2024. 4. 19	宮城県 自治会館
宮城県牧草地再除染対策チーム会議	天野祐敏・杉本達郎	宮城県	2024. 4. 19	宮城県 自治会館
2024年度 PICS 研究計画発表会	荒木利幸	宮城県	2024. 6. 17	宮城県 東北大学 (Web 参加)

「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション構築プロジェクト」web 会議	天野祐敏・杉本達郎	農研機構、2 県、東北大、全農他	2024. 8. 29 ～30	福岡県
令和 6 年度畜産環境シンポジウム	荒木利幸	全国	2024. 10. 9	東京都 農林水産省 (Web 参加)
「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション構築プロジェクト」第 2 回推進会議	天野祐敏・杉本達郎	農研機構、2 県、東北大、全農他	2024. 12. 19	岩手県 東北農業研究センター (Web 併用)
「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」小課題 3-2 設計検討会	天野祐敏	農研機構、4 県	2025. 1. 9	農研機構畜産研究部門 (Web 参加)
飼料作物種子担当者会議	杉本達郎	宮城県、種子業者	2025. 2. 3	宮城県 自治会館
展示圃成績検討会	天野祐敏・杉本達郎	宮城県	2025. 3. 7	宮城県 自治会館
令和 6 年度家畜ふん尿処理利用研究会	荒木利幸	全国	2025. 3. 7	茨城県 農研機構畜産研究部門内 (Web 参加)
令和 6 年度畜産堆肥流通体制支援事業に係る普及説明会	荒木利幸	全国	2025. 3. 12	東京都 トラストシティ カンファレンス・神谷町
宮城県飼料作物奨励品種等選定協議会		宮城県	2025. 3	書面開催

4. 出版物

出 版 物 名	発行年月
令和5年度宮城県畜産試験場試験成績書	2024.8
令和5年度宮城県畜産試験場試業務年報	2024.8
宮城県黒毛和種種雄牛案内 2025	2025.3

5. 研 修

主 催 機 関 名	研 修 名	受 講 者	期 間	開 催 場 所
[酪農肉牛部] 農林水産省	令和6年度農林水産関係若手研究者研修	高橋弘晃	2024.10.10～11	東京都 中央合同庁舎4号館
農林水産省	令和6年度中央畜産技術研修（酪農）	羽鳥 連	2024.11.18～22	福島県西郷村
独立行政法人家畜改良センター	家畜 DNA 解析技術者研修	小宮亮太	2025.1.20～31	福島県西郷村
農林水産省	令和5年度中央畜産技術研修（流通飼料）	佐々木孔亮	2025.1.28～31	福島県西郷村
宮崎県家畜改良事業団	ウシ肉質超音波診断技術研修会	高橋弘晃 佐々木孔亮	2025.2.4～6	宮崎県家畜改良事業団、ミヤチク都農工場
[種豚家きん部] 農林水産省	令和6年度中央畜産技術研修（食肉流通）	庄司宙希	2024.7.2～5	福島県西郷村
農林水産省	令和6年度中央畜産技術研修（新任畜産技術職員）	小林朋生	2024.10.16～18	福島県西郷村

6. 普及に移す技術、参考資料

[発刊号] 普及に移す技術第 100 号

課 題 名	技術分類	部 門
1 新しい基幹種雄牛「百合博」	普及技術	家 畜
2 新しい基幹種雄牛「孝糸波」	普及技術	家 畜
3 新しい基幹種雄牛「茂勝久」	普及技術	家 畜
4 黒毛和種牛におけるゲノミック育種価の活用	普及技術	家 畜
5 離乳子豚へのワカメ加工残渣および乳酸菌給与の効果	参考資料	家 畜
6 飼料用トウモロコシ奨励品種(極早生)「ゴールドデント KD460」	普及技術	草地飼料
7 堆肥の利用拡大に向けた特殊肥料等入り指定混合肥料の作製～牛ふん主体堆肥の割合が80%以上のペレット肥料の作製～	参考資料	土壌肥料
8 堆肥の利用拡大に向けた特殊肥料等入り指定混合肥料の作製～製造しやすい簡易加工による指定混合肥料の作製～	参考資料	土壌肥料

7. 畜産試験場成果報告会

2025年3月5日開催 参加者44名(Web併用開催)

題 名	発表者
1 新しい基幹種雄牛「百合博」、「孝糸波」、「茂勝久」	高橋 弘晃
2 初乳製剤の延長給与による子牛の疾病予防および発育効果改善の検証	福田 純子
3 薬剤削減のための豚腸-肺免疫連関実証事業	今井 勇志
4 本県産系統豚の能力向上技術の確立	庄司 宙希
5 飼料用トウモロコシの新たな奨励品種(候補)について	杉本 達郎
6 堆肥の利用拡大に向けた「指定混合肥料」について	荒木 利幸

IV 業務の概要

1. 家畜の飼養状況

(1) 牛

区 分			期 首 頭 数	受 入					
				生 産	購 入	分類換	管理換	その他	計
乳牛	ホルスタイン種	成 牛	60			14			14
		子 牛	21	34		—			34
肉牛	黒毛和種	種 雄 牛	26				5		5
		肥育試験牛	2				2		2
		そ の 他							
	黒毛和牛 (供卵牛)	成 牛	26				4		4
		子 牛	2	5					5
計	ホルスタイン種	成 牛	60			14			14
		子 牛	21	34		—			34
	黒毛和牛	成 牛	54				11		11
		子 牛	2	5					5
合 計			137	39		14	11		64

(2) 豚

区 分	性	期 首 頭 数	受 入					
			生 産	購 入	分類換	管理換	その他	計
成 豚	雄	27			7			7
	雌	57			14			14
子 豚	雄	170	420					420
	雌	165	351					351
合 計		419	771			21		792

(令和7年3月31日現在)

払 出								期 末 頭 数
売却	廃用	と 殺	へい死	分類換	管理換	その他	計	
2	19		3				24	50
20				14	1	1	36	19
4						1	5	26
	3				2		5	25
2					3		5	2
2	19		3				24	50
20				14	1	1	36	19
4	3				2	1	10	55
2					3		5	2
28	22		3	14	6	2	75	126

払 出								期 末 頭 数
配布 (種豚)	配布 (肉豚)	廃用 (出荷)	へい死 (淘汰)	分類換	管理換	その他	計	
		3	1				4	30
		13	4				17	54
15	40	284	96	7			442	148
34	32	157	165	14			402	114
49	72	457	266	21			865	346

2. 飼養種畜名簿

(1) 種雄牛

名号○印は基幹種雄牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	○ 洋 糸 波	黒 原 5 5 8 6	H23. 3. 23	宮城県
〃	○ 茂 福 久	黒 原 5 8 3 7	H24. 12. 25	〃
〃	○ 皐 月 彰	黒 原 5 8 4 0	H25. 5. 1	〃
〃	○ 好 久 勝	黒 原 6 0 3 1	H26. 9. 9	〃
〃	○ 勝 美 桜 1	黒 原 6 1 0 4	H28. 2. 14	〃
〃	○ 安 百 合 幸	黒 原 6 1 0 6	H28. 6. 15	〃
〃	○ 勝 秀 好	黒 1 5 3 3 1	H27. 8. 22	〃
〃	○ 昭 光 茂	黒 原 6 2 0 9	H29. 3. 24	〃
〃	○ 絵 里 波	黒 原 6 2 8 2	H30. 4. 20	〃
〃	○ 勝 茂 桜	黒 原 6 2 8 3	H29. 11. 20	〃
〃	○ 百 合 博	黒 原 6 3 6 0	H30. 12. 25	〃
〃	雅 糸 波	黒 原 6 3 6 1	H31. 1. 24	〃
〃	○ 孝 糸 波	黒 原 6 3 6 2	R 1. 5. 22	〃
〃	○ 茂 勝 久	黒 原 6 2 6 3	R 1. 6. 5	〃
〃	勝 美 雷	黒 原 6 4 3 7	R 1. 9. 6	〃
〃	華 福 久	黒 原 6 4 3 8	R 2. 5. 1	〃
〃	達 福 久	黒 原 6 4 3 9	R 2. 1. 14	〃
〃	茂 花 美	黒 原 6 4 4 0	R 2. 5. 5	〃
〃	咲 太 郎	黒 原 6 5 1 2	R 3. 1. 17	〃
〃	勝 姫 桜	黒 原 6 5 1 3	R 3. 3. 10	〃
〃	幸 勝 吉	黒 原 6 5 1 4	R 2. 11. 15	〃
〃	洋 糸 花	黒 原 6 5 1 5	R 3. 5. 6	〃
〃	誠 平 勝	黒 原 6 5 1 6	R 3. 5. 30	〃
〃	照 百 合 幸	黒 原 6 5 9 9	R 4. 5. 15	〃
〃	利 茂 福	黒 原 6 6 0 0	R 4. 2. 3	〃
〃	美 百 合 幸	黒 原 6 6 0 1	R 4. 6. 5	〃
〃	茂 栄 福	黒 原 6 6 6 0	R 4. 10. 17	〃
〃	久 勝 聖	黒 原 6 6 6 1	R 5. 5. 25	〃
〃	志 津 茂 福	黒 原 6 6 6 2	R 5. 3. 23	〃
〃	由 利 福 久	黒 原 6 6 6 3	R 5. 6. 29	〃

(R6. 4. 1~R7. 3. 31)

血		統	体格得点	備 考
父		母		
茂	洋	きくつる	85.3	廃用(R6. 6. 28)
茂	勝	ひさこ	84.8	
安	平 勝	ふくみ	82.9	廃用(R6. 6. 26)
好	平 茂	ひめかつ	85.3	廃用(R6. 6. 28)
勝	洋	ゆうこ	85.5	
百	合 茂	やすこ	83.3	
好	平 茂	つばさ	81.6	
好	平 茂	ふくゆりこ	85.5	
洋	糸 波	えりこ	83.8	
勝	早 桜 5	かまふく	83.4	
茂	洋 美	ゆりひろ	84.6	基幹種雄牛へ選抜(R6. 5. 30)
洋	糸 波	きたつるこ	84.1	廃用(R6. 6. 28)
洋	糸 波	みく	84.6	基幹種雄牛へ選抜(R6. 5. 30)
茂	福 久	かつひら	84.0	基幹種雄牛へ選抜(R6. 5. 30)
洋	糸 波	ななみ	84.5	
茂	福 久	ふゆこ	84.4	
茂	福 久	ひさゆり	83.0	
茂	洋 美	はなこ44	83.0	
茂	福 久	さくら	83.6	
茂	福 久	かつひめ	83.0	
茂	洋 美	りこ	84.5	
洋	糸 波	つばき	84.4	
平	勝 美 (宮城)	ななひさ	85.3	
安	百 合 幸	みつひこ	84.5	
茂	福 久	としひろ	83.0	
安	百 合 幸	みきさくら	84.1	
茂	福 久	ゆりえ	83.1	管理替(R6. 6. 4)
茂	福 久	ふくひさかつ	84.5	管理替(R6. 5. 13)
茂	福 久	りょうこ	84.2	管理替(R6. 6. 4)
茂	福 久	あさ	83.0	管理替(R6. 5. 13)

2) 種雌牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	み い な	黒 原 1519880	2009. 9.20	宮城県
〃	れ ん	黒 2388621	2010. 2.27	〃
〃	す ず ね	黒 2487339	2014. 2.18	〃
〃	け い こ	黒 原 1612021	2012. 5.16	〃
〃	ひ ろ ひ ろ	黒 原 1392443	2006. 9. 6	〃
〃	は な か つ	黒 2277292	2006. 9.19	〃
〃	こまはなやす6	黒 高 218038	2009. 6. 8	〃
〃	みつひめかつ	黒 原 1599875	2012. 5. 1	〃
〃	も み じ	黒 原 1735550	2016.12.11	宮崎県
〃	う め こ	黒 2588951	2017. 1. 4	〃
〃	ゆ み こ	黒 原 1441502	2007. 9. 3	宮城県
〃	き た つ る こ	黒 原 1472726	2008.10.26	〃
〃	し ろ い し	黒 原 1601887	2012. 5.23	〃
〃	え み こ	黒 高 221534	2011. 7.10	〃
〃	ぜ ん こ う 1	黒 2492299	2014. 7.25	〃
〃	い わ 27 の 41	黒 原 1712043	2016. 3.23	〃
〃	し げ ひ さ	黒 2588962	2016. 8. 4	〃
〃	い わ 28 の 49	黒 原 1744261	2017. 3.13	〃
〃	な つ み か ん	黒 原 1766861	2017. 7.31	〃
〃	い わ 30 の 1	黒 原 1775155	2018. 4. 4	〃
〃	ひ ろ ひ め	黒 2657291	2018. 5.25	〃
〃	ま ゆ こ	黒 原 1819986	2019. 8.26	〃
〃	い わ 31 の 25	黒 2713294	2019. 9.16	〃
〃	か よ こ 3	黒 原 1839675	2020. 5.28	〃
〃	か り ん	黒 2786183	2020.12.22	〃
〃	さ と み	黒 2836835	2022. 8. 9	〃
〃	い わ 21 の 48	黒 原 1519879	2009.11. 7	〃
〃	い わ 22 の 27	黒 原 1554016	2010. 9. 1	〃
〃	い わ 25 の 34	黒 原 1659058	2014. 2. 9	〃
〃	い わ 27 の 26	黒 原 1703732	2015.10. 2	〃

(R6. 4. 1~R7. 3. 31)

血 統		体格得点	備 考
父	母		
茂 洋	あやめ10のえい	80.7	廃用
茂 洋	ふ く は	79.7	廃用
茂 洋	いわ22の27	79.6	
茂 洋	な つ こ	81.2	
茂 勝	ひ ら ぎ く	83.0	
勝 忠 平	き よ た み	82.0	
安 福 久	はなきたぐに	81.5	
勝 忠 平	み つ ひ め	82.1	
美 穂 国	も な か	81.6	
耕 富 士	ぴ い ち	83.0	
勝 忠 平	ま ゆ み	81.1	
安 糸 福	きたつるしげ	81.7	
安 茂 勝	な み せ い	81.1	
茂 洋	え つ こ	—	
花 清 国	ぜんこう167	82.0	
安 福 久	かめただ425	81.0	
茂 洋	ひ さ い し	79.6	
美 津 照 重	いわ21の11	81.5	
茂 洋	な つ み	81.4	
金 太 郎 3	け い こ	82.0	
洋 糸 波	みつひめかつ	79.8	
茂 福 久	ゆ み こ	82.2	
茂 福 久	も み じ	82.1	
金 太 郎 3	け い こ	82.5	
花 茂 桜	す ず ね	80.6	
金 太 郎 3	さ と こ	81.5	
茂 洋	や す こ	80.0	廃用
安 福 久	ふ じ こ	80.4	
安 福 久	かめただ425	82.0	
好 平 茂	ひ さ い し	81.3	

(3) 乳用種

	場No.	品種	名号	個体識別番号	生年月日	産地
1	185	ホルスタイン種	ミヤチクシ チェリー ノマト	1475745212	H27. 9. 15	宮城県
2	205	〃	ミヤチクシ ニセコヌフ リ サクラ	1498745695	H29. 4. 19	〃
3	206	〃	ミヤチクシ エデ`イ エルダ	1498745701	H29. 5. 12	〃
4	207	〃	ミヤチクシ フォレスト エデ`イ	1498745732	H29. 7. 13	〃
5	208	〃	ミヤチクシ ナイト トム	1498745800	H29. 9. 5	〃
6	209	〃	ミヤチクシ レテ`イスマナー スイ`テー	1498745817	H29. 9. 7	〃
7	213	〃	ミヤチクシ スイ`ト シヤルル	1498745886	H29. 11. 11	〃
8	217	〃	ミヤチクシ ナイアグ`ラ ティ`ウエ`プ	1568346050	H30. 4. 14	〃
9	223	〃	デ`イフエント` ラハ`ンカ`ト` ET	1577846305	H31. 2. 7	〃
10	224	〃	ミヤチクシ モントレー トム	1577846336	R1. 5. 14	〃
11	225	〃	ミヤチクシ テ`コレツト リー	1577846343	R1. 5. 15	〃
12	226	〃	ミヤチクシ レテ`イスマナー オー`シヤン	1576946365	R1. 6. 3	〃
13	227	〃	ミヤチクシ ス`ダ`ン スト`ダ`	1576946372	R1. 6. 6	〃
14	228	〃	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ	1576946389	R1. 6. 18	〃
15	229	〃	ミヤチクシ シク`ナル エルサ	1576946396	R1. 6. 27	〃
16	1	〃	ミヤチクシ ス`ダ`ン スイ`テー	1576946433	R1. 8. 8	〃
17	2	〃	ヘンカ`シー`ン ナイト トム	1576946440	R1. 8. 25	〃
18	5	〃	ミヤチクシ フェイス レテ`イ	1576946549	R1. 9. 27	〃
19	6	〃	リリー`ヒル マツクスノマト` シュ`ウクリン	1576946570	R1. 11. 2	〃
20	9	〃	ミヤチクシ ウ`エラーノ エルサ	1382446721	R2. 3. 3	〃
21	11	〃	ミヤチクシ ハ`リツシュ フアツトホ`ーイ	1382446783	R2. 3. 31	〃
22	12	〃	ミヤチクシ モ`ニ`ンク` ウ`エラーノ	1382446806	R2. 5. 8	〃
23	14	〃	ミヤチクシ スフイ`ダ` トム	1382446851	R2. 6. 17	〃
24	15	〃	ミヤチクシ ナイト スフイ`ダ`	1382446875	R2. 7. 20	〃
25	16	〃	ミヤチクシ シ`エニ`ー ハ`ウエル	1382446899	R2. 8. 5	〃
26	17	〃	ミヤチクシ フアツトホ`ーイ サクラ	1382446905	R2. 8. 20	〃
27	18	〃	ミヤチクシ フォレスト スフイ`ダ`	1631947009	R3. 1. 5	〃
28	19	〃	ミヤチクシ ナイアグ`ラ フリスキー	1632747028	R3. 1. 18	〃
29	20	〃	ミヤチクシ ブ`ル`スト フェイス	1632747059	R3. 2. 12	〃
30	21	〃	ミヤチクシ タイムアウト デ`コレツト	1632747110	R3. 4. 4	〃
31	23	〃	ミヤチクシ ウ`インサ``マナー モントレー	1632747158	R3. 4. 19	〃
32	24	〃	ミヤチクシ クリ`スタ`ン アリー	1626747225	R3. 6. 15	〃
33	25	〃	ミヤチクシ フアツトホ`ーイ ミリオン	1626747270	R3. 8. 10	〃
34	26	〃	ミヤチクシ シ`エラルト` プ`ラツシュ	1626747287	R3. 8. 19	〃
35	27	〃	ミヤチクシ ハ`ラツク ト`リーム ET	1626747294	R3. 9. 8	〃
36	28	〃	ミヤチクシ ワ`ールト` エルン	1626747331	R3. 9. 29	〃
37	29	〃	ミヤチクシ ニセコヌフ`リ シ`エラルト`	1626747348	R3. 10. 25	〃
38	30	〃	ミヤチクシ シ`エラルト` フリスキー	1626747379	R3. 11. 21	〃
39	31	〃	ミヤチクシ ヘンカ`シー`ン エミツト ET	1626747386	R3. 12. 8	〃
40	32	〃	ミヤチクシ シ`エラルト` セルシアス	1626747393	R3. 12. 19	〃
41	33	〃	ミヤチクシ エミツト エレン ET	1626747409	R3. 12. 24	〃

血統		体格 得点	備 考
父名号	母名号		
ノースエリ- KS ワールド ET	ミヤチクシ HEF ノマト	86	
モーニングヒュー SHTL ソクラテス ET	ミヤチクシ ニセコスブ リ ムツチ	80	
オムラ スイト エテイー ET	ミヤチクシ エルタ トリム	84	R6.4.22 廃用出荷
オムラ スイト エテイー ET	ミヤチクシ フォレスト トム		
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ リリー トム		R6.6.28 廃用出荷
テイユー レディスマナー ショーシア	ミヤチクシ フレツト スイテイー	87	R6.6.3 死亡
オムラ スイト エテイー ET	ミヤチクシ シヤルル ラブ ラトル	81	
レイハ- ナイアグラ ハリツシュ ET	ミヤチクシ ティーウエフ ハラダイス	83	R6.8.5 廃用出荷
コムスター ラパンカート ET	ディフエント メリーシエン ファースト リー ET	81	R7.3.11 廃用出荷
ストレチア モントレー マウイ ティーン	ミヤチクシ リリー トム	81	R6.5.14 廃用出荷
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ シンエー リー ET	78	R7.2.27 廃用出荷
テイユー レディスマナー ショーシア	ミヤチクシ リリー オーシャン	82	R6.5.14 廃用出荷
ベリツチランド スターン ハウエル ET	ミヤチクシ モーニング スター	83	R7.1.14 廃用出荷
ストレチア モントレー マウイ ティーン	ミヤチクシ エディ エルタ	80	
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ テスクシヨ エルサ	86	R6.10.9 死亡
ベリツチランド スターン ハウエル ET	ミヤチクシ フレツト スイテイー	80	
ヘンカシーン CCM ウエーノ	ミヤチクシ ナイト トム		R6.4.22 廃用出荷
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ エントレス レディ	84	
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ マツクスノマト ラブ	81	
ヘンカシーン CCM ウエーノ	ミヤチクシ テコレット エルサ	78	R6.4.22 廃用出荷
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ ハリツシュ エルタ	80	
ヘンカシーン CCM ウエーノ	ミヤチクシ モーニング スター		R6.11.27 廃用出荷
MFD ウエルカム スフィータ ET	ミヤチクシ リリー トム	85	
MFD ウエルカム スフィータ ET	ミヤチクシ ナイト トム	84	
ベリツチランド スターン ハウエル ET	ミヤチクシ シンエー リー ET		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ ニセコスブ リ サクラ	80	
MFD ウエルカム スフィータ ET	ミヤチクシ フォレスト エテイー		
レイハ- ナイアグラ ハリツシュ ET	ミヤチクシ フリスキー レディシヨ	83	
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ プルースト リリー		
ティンカーベル タイムアウト ET	ミヤチクシ テコレット エルサ		
ウインザーマナー SW ナイアグラ ET	ミヤチクシ モントレー トム		
ミツキテール アリー スターン ET	ミヤチクシ クリス ショ		
テイユー フェイス ファットホーイ	ミヤチクシ モーニング スター	80	R6.11.27 廃用出荷
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ マツハ ハンビーナ	80	R6.10.17 廃用出荷
シンエベツク ハラツク ET	ミヤチクシ モントレー マウイ エルタ	82	R7.3.11 廃用出荷
BRF ハンブル ハーフエクト ワールド ET	ミヤチクシ リリー トム	82	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ ニセコスブ リ サクラ		R7.1.21 種畜配布
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ エントレス レディ		R7.1.14 廃用出荷
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム	80	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ フォレスト エテイー	80	
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		R6.5.10 種畜配布

	場No.	品種	名号	個体識別番号	生年月日	産地
42	34	ホルスタイン種	ミヤチクシ アブ ^リ エマ	1626747416	R4. 1. 6	宮城県
43	35	〃	ミヤチクシ エルサ ト ^ロ リツチ	1626747461	R4. 2. 4	〃
44	36	〃	ミヤチクシ エルダ ^ニ サンダ ^ニ -ハ ^ニ -ト ^ロ	1626747485	R4. 2. 28	〃
45	37	〃	ミヤチクシ エルダ ^ニ シ ^ニ エラルト ^ニ	1626747508	R4. 3. 13	〃
46	38	〃	ミヤチクシ トム エミツト ET	1626747553	R4. 4. 20	〃
47	39	〃	ミヤチクシ サクラ ト ^ロ リツチ	1626747560	R4. 5. 1	〃
48	40	〃	ミヤチクシ エルサ リフレクター	1626747584	R4. 6. 16	〃
49	41	〃	ミヤチクシ クリスタン リフレクター	1626747614	R4. 7. 2	〃
50	42	〃	ミヤチクシ ト ^ロ リツチ フレツト ^ニ	1626747621	R4. 7. 2	〃
51	43	〃	ミヤチクシ リリー タイムアウト	1626747638	R4. 7. 8	〃
52	44	〃	ミヤチクシ ニセコヌブ ^リ エイゾ ^ニ - ET	1626747645	R4. 7. 30	〃
53	45	〃	ミヤチクシ チェリー エクリブ ^ス	1626747683	R4. 8. 17	〃
54	46	〃	ミヤチクシ フリスキー リフレクター	1626747706	R4. 8. 23	〃
55	47	〃	ミヤチクシ ナイト ト ^ロ リツチ	1391947745	R4. 10. 30	〃
56	48	〃	ミヤチクシ シ ^ニ エニー エミツト ET	1391947752	R4. 11. 5	〃
57	49	〃	ミヤチクシ シ ^ニ エニー エミツト リリー ET	1391947837	R4. 12. 15	〃
58	50	〃	ミヤチクシ アリー ティー ウェーブ ^ニ	1391947882	R5. 2. 27	〃
59	51	〃	ミヤチクシ エイゾ ^ニ - トム ET	1391947905	R5. 3. 12	〃
60	52	〃	ミヤチクシ エルダ ^ニ トレンテ ^ニ イ	1391947936	R5. 4. 5	〃
61	53	〃	ミヤチクシ トレンテ ^ニ イ エルダ ^ニ	1391947943	R5. 4. 20	〃
62	54	〃	ミヤチクシ ブルースト ト ^ロ リツチ	1391947950	R5. 5. 13	〃
63	55	〃	ミヤチクシ トレンテ ^ニ イ トム	1391947967	R5. 5. 27	〃
64	56	〃	ミヤチクシ リリー トレンテ ^ニ イ	1391948018	R5. 6. 28	〃
65	57	〃	ミヤチクシ エルダ ^ニ ハ ^ニ リツシュ	1391948025	R5. 7. 6	〃
66	58	〃	ミヤチクシ フリスキー アブ ^リ	1391948049	R5. 7. 26	〃
67	59	〃	ミヤチクシ ハ ^ニ ラダ ^ニ イス レインボ ^ニ	1432848055	R5. 8. 3	〃
68	60	〃	ミヤチクシ チェリー アブ ^リ	1432848079	R5. 8. 20	〃
69	61	〃	ミヤチクシ スイーティー アブ ^リ	1432848086	R5. 8. 22	〃
70	62	〃	ミヤチクシ リフレクター アナ フタコ ^ニ	1391948032	R5. 7. 23	〃
71	63	〃	ミヤチクシ シ ^ニ エニー リリー エミツト ET	1432848130	R5. 10. 10	〃
72	64	〃	ミヤチクシ アブ ^リ マーゴ ^ニ ット	1432848147	R5. 10. 14	〃
73	65	〃	ミヤチクシ アムステルダ ^ニ ム トム	1432848154	R5. 11. 6	〃
74	66	〃	ミヤチクシ ヘンカシーン レイシ ^ニ ヤ ^ニ ET	1432848161	R5. 11. 16	〃
75	67	〃	ミヤチクシ リフレクター スター ^ニ	1432848178	R5. 11. 22	〃
76	68	〃	ミヤチクシ コラーニ シハ ^ニ	1432848185	R5. 11. 28	〃
77	69	〃	ミヤチクシ サミラ ナイト ET	1432848246	R6. 1. 28	〃
78	70	〃	ミヤチクシ ト ^ロ リツチ トム A フタコ ^ニ	1647148315	R6. 2. 2	〃
79	71	〃	ミヤチクシ ト ^ロ リツチ トム B フタコ ^ニ	1647148322	R6. 2. 2	〃
80	72	〃	ミヤチクシ リフレクター レテ ^ニ イシ ^ニ ョ ^ニ	1647148353	R6. 2. 18	〃
81	73	〃	ミヤチクシ アリー エルサ	1647148377	R6. 3. 9	〃
82	74	〃	ミヤチクシ アムステルダ ^ニ ム ファースト	1647148407	R6. 4. 19	〃

血統		体格 得点	備考
父名号	母名号		
ジュールホックス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ ジェニー リリー ET		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ウエーノ エルサ		
カトM サンターハート	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ	77	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ パリツシュ ファウトホーイ		R6.4.22 廃用出荷
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム	80	
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ハインツリー サクラ	78	
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ テコレット エルサ		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ パラタイス シグナル	80	
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ レディスマナ スイテーター	80	
テインカーヘル タイムアウト ET	ヘンカシーン ナイト トム	77	
ハイアランソン エンゾー ET	ミヤチクシ ハインツリー サクラ	78	
テイユー ナイト エクリプス ET	ミヤチクシ チェリー ノマト		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ オーシャン フリスキー	78	
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ナイト スファイター		R7.2.21 死亡
OCD シビツト エミツト PP ET	ミヤチクシ ジェニー ハウエル		
OCD シビツト エミツト PP ET	ミヤチクシ ジェニー ハウエル		
ミッキーテール アリー スターン ET	ミヤチクシ タイムアウト テイウエーブ		
ハイアランソン エンゾー ET	ミヤチクシ ナイト スファイター		
H.L ホーマツス トレンディ	ミヤチクシ パリツシュ ファウトホーイ		
H.L ホーマツス トレンディ	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ブルースト フェイス		
H.L ホーマツス トレンディ	ヘンカシーン ナイト トム		
H.L ホーマツス トレンディ	ミヤチクシ ナイト トム		R7.2.27 廃用出荷
レイハー ナイアグラ パリツシュ ET	ミヤチクシ エディ エルダ		
ジュールホックス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ テコレット レディシヨ		R7.3.11 廃用出荷
K.S ロナルド レインボー	ミヤチクシ ナイアグラ テイウエーブ		
ジュールホックス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ チェリー ウエーノ		
ジュールホックス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ レディスマナ スイテーター		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ スイート アナ		R7.2.27 廃用出荷
OCD シビツト エミツト PP ET	ミヤチクシ ジェニー ハウエル		
ジュールホックス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ シグナル エルサ		
テインカーヘル アムステルダム ET	ミヤチクシ ナイト スファイター		
リハリー レジヤー RED ET	ミヤチクシ ヘンカシーン エミツト ET		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ スターン スター		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ チェリー ノマト		
ハインツリー サミラ ET	ミヤチクシ ヘンカシーン エミツト ET		R6.12.12 廃用出荷
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ヘンカシーン エミツト ET		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ヘンカシーン エミツト ET		
ハツビークロス マツセイ リフレクター ET	ミヤチクシ フェイス レディ		R7.3.14 廃用出荷
ミッキーテール アリー スターン ET	ミヤチクシ エルサ トロリツチ		R7.3.14 廃用出荷
テインカーヘル アムステルダム ET	ディフェンダー ラハンカー ト ET		

(4)種雄豚(デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
118	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 5 0465	DD04-A001361	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
118-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 5 0466	DD04-A001362	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
123-3	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 5 0406	DD04-A001148	H31.1.29	ミヤチク 01-35(H13.2.12生) DD04-Y036729
217-12	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 21 11 0414	DD04-A001734	R4.2.2	ミヤチク シモフリレツト [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
218	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 21 4 0113	DD04-A001634	R3.7.12	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
218-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 22 7 0418	DD04-A001736	R4.2.10	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
223	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 21 2 0154	DD04-A001639	R3.7.23	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
304	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 4 0159	DD04-A001236	R1.7.8	ミヤチク シモフリレツト [*] 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
304-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 9 0246	DD04-A001265	R1.8.26	ミヤチク シモフリレツト [*] 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
311	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 21 1 0349	DD04-A001515	R3.2.7	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
311-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 22 4 0152	DD04-A001820	R4.7.16	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
316	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 1 0483	DD04-A001369	R2.3.31	ミヤチク シモフリレツト [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
316-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 20 8 0475	DD04-A001367	R2.3.31	ミヤチク シモフリレツト [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
404	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 22 6 0269	DD04-A001989	R4.10.14	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
404-2	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 23 4 0176	DD04-A002061	R5.6.30	ミヤチク シモフリレツト [*] 19 4 0159(R1.7.8生) DD04-A001236
411	デュロック	ミヤチク シモフリレツト [*] 23 2 0044	DD04-A002031	R5.4.25	ミヤチク シモフリレツト [*] 21 1 0349(R3.2.7生) DD04-A001515
417-2	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 7 0413	DD04-A001333	R2.2.20	シモフリレツト [*] ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
425	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 12 0131	DD04-A001418	R2.7.12	シモフリレツト [*] ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
505	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 18 7 0217	DD04-A001078	H30.7.26	シモフリレツト [*] ミヤチク 15 3 0193 (H27.7.22生) DD04-A000578
515-2	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 6 0171	DD04-A001438	R2.7.24	シモフリレツト [*] ミヤチク 15 2 0368 (H27.10.6生) DD04-A000619
517	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 23 3 0090	DD04-A002040	R5.5.7	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 7 0413 (R2.2.20生) DD04-A001333
525	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 23 3 0372	DD04-A002112	R5.11.22	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 12 0131(R2.7.12生) DD04-A001418
525-2	デュロック	シモフリレツト [*] ミヤチク 24 1 0181	DD04-A002215	R6.7.3	シモフリレツト [*] ミヤチク 20 12 0131(R2.7.12生) DD04-A001418

(R6.4.1~R7.3.31)

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
ミヤチク シモフリレット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	B	A	C	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 18 9 0326(H30.9.16生) DD04-A001111	B	B	A	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 20 2 0390(R2.2.17生) DD04-A001330	B	A	B	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	B	B	A	B	C	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 13 4 0566(H25.3.13生) DD04-A000146	特 A	A	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001349	A	B	A	C	A	当 場	R6.5.15廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 19 1 0511(H31.3.14生) DD04-A001178	特 A	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 15 9 0533(H27.2.27生) DD04-A000530	A	A	特 A	A	A	当 場	R6.8.7廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 19 5 0085(R1.6.14生) DD04-A001216	A	A	B	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 3 0410(R3.3.11) DD04-A001538	A	B	A	A	A	当 場	R6.11.9へい死
シモフリレット [*] ミヤチク 21 2 0255(R3.9.19生) DD04-A001680	B	B	B	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	A	A	特 A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 14 8 0169(H26.7.26生) DD04-A000450	A	A	特 A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 11 0068(R3.6.14) DD04-A001611	B	B	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 1 0405(R4.1.30生) DD04-A001726	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 23 3 0516(R5.3.27生) DD04-A002013	B	B	B	B	A	当 場	

(4)種雄豚(ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号	証明番号	生年月日	血	
					父豚名号	
202	ランドレース	ミヤギノ L2 17 7 0120	LL04-A000974	H29.6.30	ミヤギノ L2 12-7-407 (H24.1.9 生) LL04- Y500248	
306	ランドレース	ミヤギノ L2 21 9 0321	LL04-A001285	R3.1.26	ミヤギノ L2 17 8 0014 (H29.6.14 生) LL04- A000893	
310	ランドレース	ミヤギノ L2 21 4 0332	LL04-A001289	R3.2.2	ミヤギノ L2 17 10 0075 (H29.6.22 生) LL04- A000962	
205-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 2 0300	LL04-A001367	R4.1.31	ミヤギノ L2 14 5 0336 (H26.8.1 生) LL04- A000589	
305	ランドレース	ミヤギノ L2 22 5 0041	LL04-A001379	R4.6.14	ミヤギノ L2 18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996	
404	ランドレース	ミヤギノ L2 22 3 0232	LL04-A001403	R4.7.24	ミヤギノ L2 20 3 0194 (R2.1.15 生) LL04- A001196	
302	ランドレース	ミヤギノ L2 23 4 0426	LL04-A001507	R5.1.30	ミヤギノ L2 17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974	
303	ランドレース	ミヤギノ L2 23 6 0085	LL04-A001516	R5.6.20	ミヤギノ L2 19 1 0234 (H31.1.19 生) LL04- A001131	
302-2	ランドレース	ミヤギノ L2 24 6 0356	LL04-A001555	R6.2.23	ミヤギノ L2 17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974	
301	ランドレース	ミヤギノ L2 24 8 0103	LL04-A001569	R6.7.11	ミヤギノ L2 20 13 0121 (R2.6.30 生) LL04- A001246	

(R6.4.1~R7.3.31)

統	母豚名号	審査成績					産地	備考
		一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
	ミヤギノ L2 13 10 0260 (H25.7.7 生) LL04- A000368	特					当 場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 (H27.3.7 生) LL04- A000701	特					当 場	
	ミヤギノ L2 18 9 0183 (H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 5 0178 (R2.1.15 生) LL04- A001188	A	A	A	特 A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 19 7 0155 (R1.7.18 生) LL04- A001175	A	A	特 A	特 A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 5 0178 (R2.1.15 生) LL04- A001188	特					当 場	
	ミヤギノ L2 20 13 0124 (R2.7.3 生) LL04- A001247	B	B	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 19 4 0138 (R1.7.15 生) LL04- A001172	B	B	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 3 0187 (R2.1.15 生) LL04- A001190	B	B	A	C	B	当 場	
	ミヤギノ L2 219 7 0155 (R1.7.18 生) LL04- A001175	B	B	B	C	C	当 場	

(5)種雌豚(デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
311-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 17 9 0361	DD04-A000818	H29.2.4	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
329-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0126	DD04-A001416	R2.7.12	シモフリット [*] ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
403	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 14 0131	DD04-A001229	R1.7.4	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
411	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459	DD04-A001354	R2.3.7	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
429	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 5 0060	DD04-A001790	R4.5.14	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
431-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 9 0326	DD04-A001111	H30.9.16	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
449	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 3 0526	DD04-A001184	H31.3.25	シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0368(H27.10.6生) DD04-A000619
458-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 7 0341	DD04-A001510	R3.2.3	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
511-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 21 2 0255	DD04-A001680	R3.9.19	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0171(R2.7.24生) DD04-A001438
511-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 4 0148	DD04-A001819	R4.7.16	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
516	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 5 0085	DD04-A001216	R1.6.14	シモフリット [*] ミヤチク 10-10-288(H22.9.13生) DD04-Y042992
516-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0334	DD04-A001301	R2.1.18	シモフリット [*] ミヤチク 10-10- 288(H22.9.13生) DD04-Y042992
531-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 8 0209	DD04-A001452	R2.8.23	ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
531-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 3 0410	DD04-A001538	R3.3.11	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
534	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 19 1 0511	DD04-A001178	H31.3.14	シモフリット [*] ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
534-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 4 0269	DD04-A001477	R2.10.22	シモフリット [*] ミヤチク 18 7 0217(H30.7.26生) DD04-A001078
537-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 11 0068	DD04-A001611	R3.6.14	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
549-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 5 0032	DD04-A001778	R4.4.19	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
549-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 6 0237	DD04-A001967	R4.9.14	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
554	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 18 1 0068	DD04-A001045	H30.4.20	シモフリット [*] ミヤチク 13 1 0393(H25.10.2生) DD04-A000350
554-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0464	DD04-A001360	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
555-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 20 11 0441	DD04-A001349	R2.2.29	ミヤチク シモフリット [*] 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
555-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0183	DD04-A001440	R2.7.28	シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578

(R6.4.1～R7.3.31)

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
シモフリット [*] ミヤチク 12 9 0257(H24.8.10生) DD04-A000078	特 A	特 A	A	B	A	当 場	R6.7.17廃用
シモフリット [*] ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	A	A	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 11-1-999(H23.7.10生) DD04-Z083967	A	B	B	B	C	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	A	B	A	B	C	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 19 10 0191(R1.7.31生) DD04-A001243	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0512(H26.2.15生) DD04-A000382	A	A	B	B	B	当 場	R6.6.27廃用
ミヤチク シモフリット [*] 17 9 0354(H29.2.2生) DD04-A000816	A	B	A	B	B	当 場	R6.7.17廃用
シモフリット [*] ミヤチク 17 10 0338(H29.1.28生) DD04-A000807	A	A	A	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	B	B	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	A	B	B	B	A	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	特 A	A	A	A	当 場	R6.11.8淘汰
シモフリット [*] ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	B	A	B	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	A	当 場	R6.6.27廃用
ミヤチク シモフリット [*] 19 8 0005(H31.4.4生) DD04-A001191	A	A	B	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	B	A	A	B	当 場	R6.7.3廃用
ミヤチク シモフリット [*] 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	A	B	A	C	当 場	R6.12.4廃用
シモフリット [*] ミヤチク 15 3 0273(H27.8.18生) DD04-A000596	B	B	B	C	C	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	A	B	A	当 場	R6.10.2廃用
シモフリット [*] ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	B	B	A	C	A	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	B	A	B	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット [*] 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリット [*] ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	R6.11.20廃用
シモフリット [*] ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
558-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 5 0269	DD04-A001682	R3.9.29	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
558-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 1 0405	DD04-A001726	R4.1.30	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
603	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 2 0379	DD04-A001721	R4.1.23	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
607	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 9 0031	DD04-A001596	R3.5.28	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
616	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 23 1 0374	DD04-A001944	R5.1.29	ミヤチク シモフリット [*] 21 1 0349(R3.2.7生) DD04-A001515
631	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 19 3 0503	DD04-A001170	H31.3.9	ミヤチク 01-365(H13.3.21生) DD04-Y036724
631-3	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 23 3 0004	DD04-A002019	R5.4.13	シモフリット [*] ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
634-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 3 0174	DD04-A001900	R4.8.10	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0154(R3.7.23生) DD04-A001639
637-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0443	DD04-A001550	R3.3.15	ミヤチク シモフリット [*] 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
649	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 24 2 0022	DD04-A002261	R6.4.23	ミヤチク シモフリット [*] 22 6 0269(R4.10.14生) DD04-A001989
654	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 20 2 0390	DD04-A001330	R2.2.17	シモフリット [*] ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
654-3	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 21 5 0289	DD04-A001690	R3.11.9	ミヤチク シモフリット [*] 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
655	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 4 0082	DD04-A001796	R4.6.3	ミヤチク シモフリット [*] 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
655-2	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 24 8 0015	DD04-A002260	R6.4.18	シモフリット [*] ミヤチク 20 6 0171(R2.7.24生) DD04-A001438
703	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 23 3 0378	DD04-A002116	R5.11.26	ミヤチク シモフリット [*] 22 6 0269(R4.10.14生) DD04-A001989
703-2	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 24 4 0168	DD04-A002112	R6.6.27	ミヤチク シモフリット [*] 22 6 0269(R4.10.14生) DD04-A001989
707	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 23 3 0306	DD04-A002100	R5.10.8	ミヤチク シモフリット [*] 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
734	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 24 2 0441	DD04-A002140	R6.2.24	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0466(R2.3.10生) DD04-A001362
737	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 22 2 0245	DD04-A001973	R4.9.16	ミヤチク シモフリット [*] 20 5 0466(R2.3.10生) DD04-A001362
746	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 23 3 0516	DD04-A002013	R5.3.27	ミヤチク シモフリット [*] 21 2 0154(R3.7.23生) DD04-A001639
837	デュロック	ミヤチク シモフリット [*] 24 2 0005	DD04-A002256	R6.4.16	ミヤチク シモフリット [*] 22 6 0269(R4.10.14生) DD04-A001989
846	デュロック	シモフリット [*] ミヤチク 24 1 0178	DD04-A002214	R6.7.3	シモフリット [*] ミヤチク 20 12 0131(R2.7.12生) DD04-A001418

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
ミヤチク シモフリレット [*] 18 2 0253(H30.8.20生) DD04-A001103	A	B	C	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 21 7 0341(R3.2.3生) DD04-A001510	B	A	A	A	B	当 場	R6.7.17廃用
シモフリレット [*] ミヤチク 20 1 0153(R2.7.20生) DD04-A001428	B	B	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	B	B	B	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 10 0309(R3.11.16生) DD04-A001695	B	B	A	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	A	A	A	B	C	当 場	R6.12.17へい死
ミヤチク シモフリレット [*] 20 8 0209(R2.8.23生) DD04-A001452	B	B	B	B	A	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 20 4 0269(R2.10.22生) DD04-A001477	B	B	A	C	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 19 8 0251(R1.9.6生) DD04-A001270	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 6 0237(R4.9.14生) DD04-A001967	B	B	B	B	A	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	A	B	A	B	当 場	
シモフリレット [*] ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	A	B	C	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	C	B	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 2 0379(R4.1.23生) DD04-A001721	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 2 0379(R4.1.23生) DD04-A001721	A	A	B	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 9 0031(R3.5.28生) DD04-A001596	A	B	B	C	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 3 0174(R4.8.10) DD04-A001900	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 2 0443(R3.3.15生) DD04-A001550	A	B	C	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 21 1 0366(R3.2.21生) DD04-A001521	B	B	C	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 22 2 0245(R4.9.16生) DD04-A001973	A	B	B	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット [*] 23 3 0516(R5.3.27生) DD04-A002013	B	C	B	B	C	当 場	

(5)種雌豚(ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号		証明番号	生年月日	血	
						父豚名号	
447	ランドレース	ミヤギノ L2	19 3 0130	LL04-A001169	R1.7.9	ミヤギノ L2	12 8 0127 (H24.7.13 生) LL04- A000053
317	ランドレース	ミヤギノ L2	19 4 0138	LL04-A001172	R1.7.15	ミヤギノ L2	12-7-466 (H24.1.17 生) LL04- Y500251
326	ランドレース	ミヤギノ L2	19 7 0155	LL04-A001175	R1.7.18	ミヤギノ L2	15 6 0623 (H27.2.4 生) LL04- A000672
443	ランドレース	ミヤギノ L2	20 5 0178	LL04-A001188	R2.1.15	ミヤギノ L2	17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974
329-3	ランドレース	ミヤギノ L2	20 3 0187	LL04-A001190	R2.1.15	ミヤギノ L2	15 6 0623 (H27.2.4 生) LL04- A000672
217-3	ランドレース	ミヤギノ L2	20 14 0300	LL04-A001221	R2.2.29	ミヤギノ L2	13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191
342-2	ランドレース	ミヤギノ L2	20 9 0088	LL04-A001238	R2.6.24	ミヤギノ L2	18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996
246-3	ランドレース	ミヤギノ L2	20 13 0124	LL04-A001247	R2.7.3	ミヤギノ L2	13 8 0785 (H25.2.20 生) LL04- A000191
207-2	ランドレース	ミヤギノ L2	20 13 0151	LL04-A001256	R2.7.8	ミヤギノ L2	19 5 0239 (H31.1.20 生) LL04- A001133
326-2	ランドレース	ミヤギノ L2	21 10 0032	LL04-A001326	R3.6.15	ミヤギノ L2	14 5 0336 (H26.8.1 生) LL04- A000589
534	ランドレース	ミヤギノ L2	21 4 0059	LL04-A001338	R3.6.22	ミヤギノ L2	17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974
326-3	ランドレース	ミヤギノ L2	22 11 0216	LL04-A001355	R4.1.19	ミヤギノ L2	20 13 0121 (R2.6.30 生) LL04- A001246
317-2	ランドレース	ミヤギノ L2	22 9 0220	LL04-A001356	R4.1.20	ミヤギノ L2	17 8 0014 (H29.6.14 生) LL04- A000893
447-2	ランドレース	ミヤギノ L2	22 7 0269	LL04-A001362	R4.1.28	ミヤギノ L2	21 4 0332 (R3.2.2 生) LL04- A001289
329-4	ランドレース	ミヤギノ L2	22 8 0030	LL04-A001383	R4.6.14	ミヤギノ L2	21 4 0332 (R3.2.2 生) LL04- A001289
634	ランドレース	ミヤギノ L2	22 1 0089	LL04-A001391	R4.6.19	ミヤギノ L2	18 11 0218 (H30.1.22 生) LL04- A000996
423	ランドレース	ミヤギノ L2	23 5 0239	LL04-A001407	R5.1.18	ミヤギノ L2	20 3 0194 (R2.1.15 生) LL04- A001196
543	ランドレース	ミヤギノ L2	23 4 0292	LL04-A001412	R5.1.22	ミヤギノ L2	20 3 0194 (R2.1.15 生) LL04- A001196
442	ランドレース	ミヤギノ L2	23 7 0088	LL04-A001517	R5.6.21	ミヤギノ L2	19 5 0239 (H31.1.20 生) LL04- A001133
346	ランドレース	ミヤギノ L2	23 5 0130	LL04-A001524	R5.6.23	ミヤギノ L2	22 2 0300 (R4.1.31 生) LL04- A001367
523	ランドレース	ミヤギノ L2	24 1 0254	LL04-A001543	R6.1.29	ミヤギノ L2	23 4 0426 (R5.1.30 生) LL04- A001507
442-2	ランドレース	ミヤギノ L2	24 6 0293	LL04-A001547	R6.2.6	ミヤギノ L2	17 7 0120 (H29.6.30 生) LL04- A000974
317-3	ランドレース	ミヤギノ L2	24 8 0001	LL04-A001560	R6.6.19	ミヤギノ L2	22 5 0041 (R4.6.14 生) LL04- A001379
547	ランドレース	ミヤギノ L2	24 9 0012	LL04-A001564	R6.6.20	ミヤギノ L2	22 2 0300 (2021/31 生) LL04- A001367

(R6.4.1~R7.3.31)

統	審査成績					産地	備考
	母豚名号	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器		
ミヤギノ L2 (H29.7.2 生) LL04-	17 8 0126 A000978	A	A	A	A	B	当 場 R6.10.16廃用
ミヤギノ L2 (H29.1.23 生) LL04-	17 9 0231 A000866	A	A	A	A	B	当 場 R6.10.16廃用
ミヤギノ L2 (H27.3.7 生) LL04-	15 7 0842 A000701	A	A	A	A	A	当 場 R6.10.23廃用
ミヤギノ L2 (H29.2.1 生) LL04-	17 9 0286 A000876	A	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H30.1.22 生) LL04-	18 11 0215 A000994	A	A	A	A	A	当 場
ミヤギノ L2 (H24.2.3 生) LL04-	12-7-646 Z501799	B	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H27.3.5 生) LL04-	15 5 0821 A000700	特 A	A	A	A	B	当 場 R6.10.23廃用
ミヤギノ L2 (H25.7.6 生) LL04-	13 10 0209 A000356	特 A	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H25.7.7 生) LL04-	13 10 0260 A000368	特 A	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H27.3.7 生) LL04-	15 7 0842 A000701	B	A	A	B	A	当 場
ミヤギノ L2 (H31.1.29 生) LL04-	19 1 0288 A001144	A	B	B	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H27.3.7 生) LL04-	15 7 0842 A000701	B	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H29.1.23 生) LL04-	17 9 0231 A000866	A	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (H29.7.2 生) LL04-	17 8 0126 A000978	B	B	A	A	A	当 場
ミヤギノ L2 (H30.1.22 生) LL04-	18 11 0215 A000994	特 A	A	特 A	A	A	当 場
ミヤギノ L2 (R3.6.22 生) LL04-	21 4 0059 A001338	A	A	A	特 A	A	当 場
ミヤギノ L2 (R1.7.8 生) LL04-	19 2 0124 A001167	B	B	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (R2.1.15 生) LL04-	20 5 0178 A001188	A	B	A	B	A	当 場
ミヤギノ L2 (R1.6.28 生) LL04-	19 8 0026 A001156	A	B	A	A	A	当 場
ミヤギノ L2 (R2.7.3 生) LL04-	20 13 0125 A001248	A	A	A	A	B	当 場
ミヤギノ L2 (R5.1.18 生) LL04-	23 5 0239 A001407	B	B	B	C	B	当 場
ミヤギノ L2 (R2.6.24 生) LL04-	20 9 0088 A001238	A	B	B	C	B	当 場 R7.1.31 へい死
ミヤギノ L2 (R2.2.9 生) LL04-	20 14 0300 A001221	B	B	B	C	C	当 場
ミヤギノ L2 (R1.7.9 生) LL04-	19 3 0130 A001169	B	B	B	C	B	当 場

3. 生産物の状況

(1) 生乳の生産 (単位 : kg)

区 分	生産量
生 乳	358,530

(2) 人工授精用精液の生産配布

1) 牛

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡	場 用	その他	計	
黒毛和種	223,731	41,532	18,384	354	34,429	53,167	212,096

2) 豚

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡 [※]	場 用	その他	計	
デュロック	0	7,174	6,405	140	629	7,174	0

※手数料免除34本含む

(3) 受精卵の生産配布

1) 牛

(単位 : 個)

区 分	生産量	譲 渡
黒毛和種	187	83

4. 牧草・飼料作物の生産

(1) 生産状況

利用区分	面積	草種	施肥量	収穫回数及び収穫時期	生草収量	調製形態
採草地	53.0ha 利用 47.5ha	オーチャードグラス イタリアライグラス	年間 N- P- K 9.9-3.6-3.6 kg/10a 堆肥 1.5t/10a	3回 1番草 令和6年 5月10日 ～5月24日 2番草 6月22日 ～8月2日 3番草 8月11日 ～10月2日	2.0～4.0 t/10a	1番草 ラップサイレージ 2番草 ラップサイレージ 3番草 ラップサイレージ
放牧地	2.9ha	オーチャードグラス ペレニアルライグラス	休牧			
飼料畑	6.6ha 利用 4.0ha	飼料用トウモロコシ P2088(RM118) SH4812(RM125) 播種日 4月16日 栽植密度 7,100本/10a	基肥 (側条施肥) N-P-K 2.4-2.4-2.4 kg/10a 発酵鶏糞 300kg/10a 堆肥 4t/10a	1回 令和6年 8月19日 ～8月21日	6.0t/10a	バンカーサイロ 及び 地下サイロ
計	62.5ha					

※放牧地2.9haは放射性物質の除染を行っていないため利用自粛。

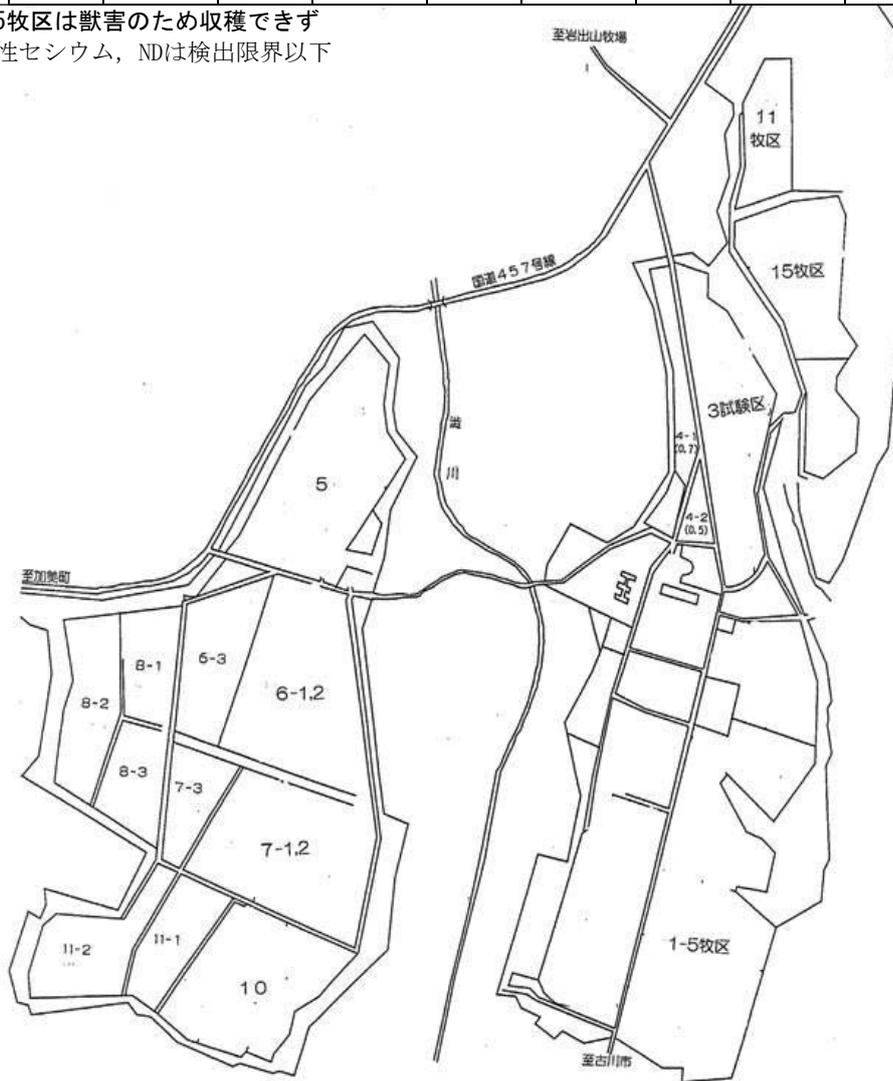
(2) 害虫及び雑草防除

利用区分	内容	処理日	使用薬剤
飼料用トウモロコシ	雑草防除 4.0ha	令和6年4月18日(土壌処理) 令和6年5月22日(茎葉処理) 令和6年5月30日(茎葉処理)	ゲサノコールト アルファート ブルーシア
採草地	雑草防除 3.4ha 雑草防除 25.0ha	令和6年7月12日 令和6年10月15, 22, 24, 29日	ハーモニー DF 水和剤 ハーモニー DF 水和剤

令和6年産牧草サイレージ生産実績及び放射性物質検査結果

圃場名	面積 (ha)	番草別収穫ロール個数(収穫日)						合計	摘要 優先草種
		1番草		2番草		3番草			
		5/10 ~5/24	RCs Bq/kg	6/21 ~8/2	RCs Bq/kg	9/11 ~10/2	RCs Bq/kg		
3号-1.2	3.2	20	ND	9	0.6	24	0.9	53	オーチャードグラス
4号-1.2	1.2	7	ND	3	ND	6	0.6	16	イタリアンライグラス
6号-1.2	6.8	141	ND	86	0.8	33	1.5	260	オーチャードグラス
6号-3	2.8		0.6		0.9		1.1		オーチャードグラス
7号-1.2	5.9	71	ND	35	0.9	18	ND	124	オーチャードグラス
7号-3	2.1	38	ND	18	ND	3	ND	59	イタリアンライグラス
8号-1.3	3.8	86	0.5	58	0.7	17	ND	161	イタリアンライグラス
8号-2	2.8		0.6		1.3		0.7		イタリアンライグラス
10号	5.6	81	ND	42	ND	18	ND	141	イタリアンライグラス
11号-1	2.2	35	ND	15	ND	9	ND	59	イタリアンライグラス
11号-2	2.6	33	ND	18	ND	8	0.7	59	イタリアンライグラス
1-5牧区	8.5	62	ND	32	0.6	5	0.9	99	イタリアンライグラス
11号牧区	2.6	-	-	-	-	-	-	-	オーチャードグラス
15号牧区	2.9	-	-	-	-	-	-	-	オーチャードグラス
計	53.0	574		316		141		1031	

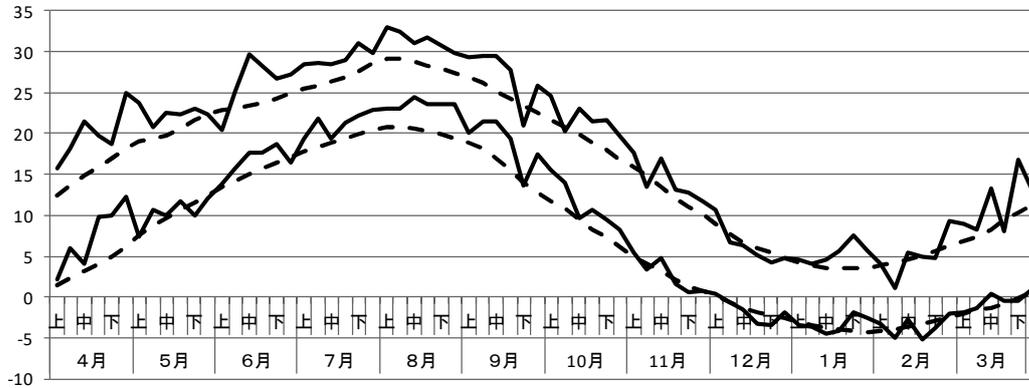
※11号牧区15号牧区は獣害のため収穫できず
RCsは放射性セシウム, NDは検出限界以下



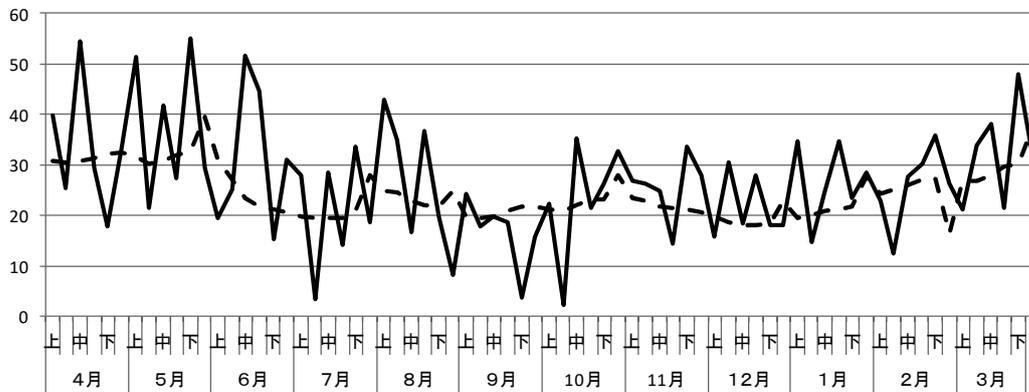
5. 気象経過

令和6年度の気象経過(古川アメダス)

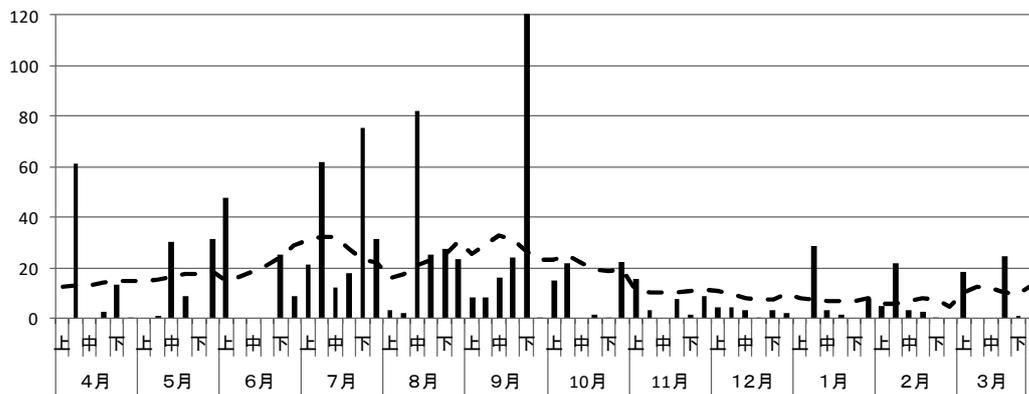
気温(°C)



日照時間(hr)



降水量(mm)



※破線は平年値

V 総務

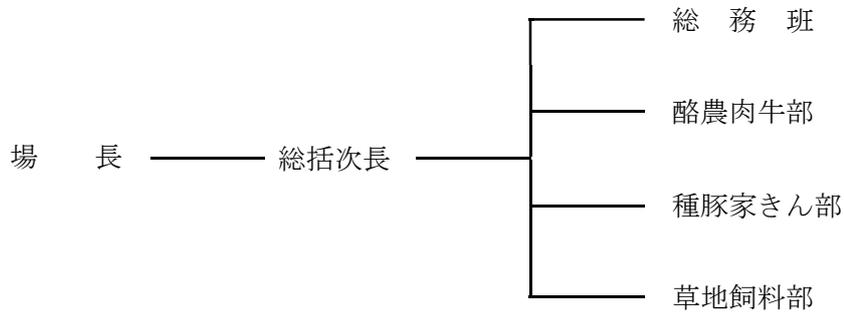
1. 沿 革

大正 10(1921)年 8月	刈田郡白石町大字郡山（現白石市）に創設。種牛（ホルスタイン種・改良和種）に関する業務のみ施行。
昭和 3 (1928)年 4月	緬羊、山羊、豚、鶏および兎に関する業務を追加施行。
昭和 19(1944)年 4月	有畜農業指導員養成施設を併置。
昭和 22(1947)年 4月	上記養成施設が畜産技術員養成施設と改められる。
昭和 24(1949)年 5月	玉造郡西大崎村（現岩出山町）所在の農林省宮城種畜牧場の廃場に伴いその施設と家畜を譲受。
昭和 24(1949)年 6月	白石町より西大崎村に移転更に加美種畜場を閉鎖、その家畜を当場に移し新たに馬に関する業務を加えて総合種畜場として発足。
昭和 29(1954)年 10月	家畜人工授精（牛）メインセンターを併設、県内北部（5家畜保健衛生所管内）に精液配布業務を開始。
昭和 32(1957)年 4月	鶏の抜取見本産卵能力検定（R S T）実施。
昭和 33(1958)年 4月	種雄牛を集中管理。人工授精精液を県内一円配布。
昭和 35(1960)年 11月	組織改正により、家畜、家きん、飼料作物に関する試験研究業務を追加。
昭和 36(1961)年 10月	畜産技術員養成施設が畜産技術講習施設に改正。
昭和 40(1965)年 4月	豚の産肉能力検定事業を開始。
昭和 43(1968)年 4月	液体窒素による牛凍結精液を県内一円に配布開始。
昭和 43(1968)年 10月	玉造郡鳴子分場（旧開拓営農普及農場）併置（昭和 46 年 3 月に閉鎖）。
昭和 45(1970)年 4月	庶務、種畜、草地飼料の 3 課制となる。
昭和 48(1973)年 4月	宮城県畜産試験場に改め、総務課、家畜第一部（乳牛科、肉牛科、畜産化学科）、家畜第二部（養豚科、養鶏科、畜産公害科）および草地飼料部（草地科、飼料科）の 1 課 3 部制となる。
昭和 49(1974)年 6月	種雄牛「茂重波」を兵庫県より購入、同年精液配布（昭和 63 年 1 月廃用）。
昭和 52(1977)年 4月	現在の本館を建設。宮城県農業実践大学校（現宮城県農業大学校）が併設される。
昭和 53(1978)年 4月	総務課、研究第一部（経営研究科、乳牛科、肉牛科）、研究第二部（養豚科、養鶏科、畜産化学科）、研究第三部（草地飼料科、畜産公害科）となる。
昭和 58(1983)年 4月	研究第二部に原種豚造成科を新設し、種豚舎と検定豚舎完成。同時に畜産化学科を研究第三部に編入。
昭和 59(1984)年 6月	前年受精卵移植技術に着手し、本県最初の受精卵移植による子牛が誕生。
昭和 61(1986)年 4月	場内組織を総務課、酪農肉牛部、種豚家きん部、草地飼料部に改称し、酪農肉牛部に受精卵研究科を新設。

平成 2 (1990)年 3 月	前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ」の系統認定を受ける。
平成 2 (1990)年 4 月	原種豚造成科を原種豚科に改称。
平成 4 (1992)年 6 月	高泌乳牛の飼養管理を目的とした乳牛舎完成。
平成 5 (1993)年 4 月	「茂勝」を基幹種雄牛に選定した(平成 16 年 12 月廃用)。
平成 9 (1997)年 4 月	受精卵研究科をバイオテクノロジー研究科に改称。翌年 1 月バイオテック棟完成。
平成 11(1999)年 4 月	組織改正により、総務班、酪農肉牛部(乳牛チーム、肉牛チーム、バイオテクノロジー研究チーム)、種豚家きん部(原種豚チーム、養豚家きんチーム)、草地飼料部(草地飼料チーム、環境資源チーム)となる。
平成 14(2002)年 3 月	前年デュロック種系統造成完了、「しもふりレッド」の系統認定を受ける。翌年 2 月原種豚舎完成。
平成 14(2002)年 8 月	家畜排せつ物法に対応した、たい肥化棟(強制発酵処理施設)を建設。
平成 19(2007)年 3 月	「茂洋」を基幹種雄牛に選定した(令和元年 9 月廃用)。
平成 21(2009)年 3 月	前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ L 2」の系統認定を受ける。
平成 30(2018)年 11 月	新しい種雄牛舎と精液採取棟完成。

2. 機 構

(1) 機 構 図



(2) 職 員 名 簿

(令和7年3月31日現在)

所 属	職	氏 名
	場 長	菊地 武
	副参事兼総括次長 (兼班長)	西塚 健哉
総 務 班	兼 班 長	西塚 健哉
	主 幹	小山 奈美
	主 幹	菅原 真智恵
	主 査	後藤 裕太郎
	主 事	柿崎 壮則
酪農肉牛部	部 長	石黒 裕敏
乳牛チーム	研 究 員	福田 純子
	技 師	羽鳥 連
肉牛チーム	技 師	高橋 弘晃
	技 師	小宮 亮太
	技 師	佐々木 孔亮
バイオテクノロジー	総 括 研 究 員	及川 俊徳
研究チーム	研 究 員	佐藤 秀俊
(酪農肉牛部兼	技師 (農場業務主任)	加藤 秀樹
草地飼料部)	技師 (農場業務主任)	千葉 美保
	技師 (農場業務主任)	岩浅 忍
	技師 (農場業務主任)	阿部 浩
	技師 (農場業務)	手代木 弘樹
	技師 (農場業務)	門間 恵
	技師 (農場業務)	小澤 志歩

所 属	職	氏 名	
種豚家きん部 養豚家きんチーム	部 長	武田 正寛	
	上席主任研究員	高橋 伸和	
	副主任研究員	曾地 雄一郎	
	技 師	庄司 宙希	
	原種豚チーム (種豚家きん部)	技 師	今井 勇志
		技 師	小林 朋生
		技師 (農場業務主任)	門脇 裕司
		技師 (農場業務主任)	中村 義孝
		技師 (農場業務)	菅原 雄司
	草地飼料部 草地飼料チーム	技師 (農場業務)	天野 奨喜
技師 (農場業務)		尾形 敏	
部 長		佐藤 俊益	
副主任研究員		天野 祐敏	
副主任研究員		杉本 達郎	
環境資源チーム (酪農肉牛部兼 草地飼料部)		総括研究員	荒木 利幸
		技 師	伊藤 裕之
		技師 (農場業務主任)	尾形 優
		技師 (農場業務)	及川 真樹
		技師 (農場業務)	門間 友和
技師 (農場業務)	及川 孝昭		

3. 会 計

(1) 歳 入

(令和7年5月31日現在)

科 目	収 入 額	備 考
	円	
使用料及び手数料	826,580	
使用料	826,580	鉄塔敷等使用料
財 産 収 入	78,051,846	
財 産 売 払 収 入	78,051,846	
物 品 売 払 収 入	7,672,490	肥育牛等販売代金
生 産 物 売 払 収 入	70,379,356	原乳等販売代金
諸 収 入	9,148,657	
受 託 事 業 収 入	8,723,312	受託事業収入
雑 収 入	425,345	電気代等
収 入 証 紙 収 入	56,850,500	和牛・豚精液
計	144,877,583	

(2) 歳 出

	0 2 総務費		0 6 農林水産業費		
	0 1 総務管理費		0 1 農業費		
	0 1 一般管理費	0 2 人事管理費	0 2 総合農政 企画指導費	0 7 食料需給総 合対策費	1 2 農業改良 普及費
0 1 報 酬					
0 2 給 料					
0 3 職員手当等					
0 4 共 済 費					
0 7 報 償 費					
0 8 旅 費		9,264			
1 0 需 用 費					
1 1 役 務 費		11,453			
1 2 委 託 料					
1 3 使用料及び 賃借料					
1 4 工事請負費					
1 7 備品購入費					
1 8 負担金及び 補助交付金		22,000			
2 1 補償補填及 び賠償金					
2 6 公 課 費					
計	0	42,717	0	0	0

(単位：円、令和7年5月31日現在)

				合 計
0 2 畜産業費				
1 4 農業試験研究費	0 2 畜産振興費	0 3 家畜保健衛生費	0 4 畜産試験研究費	
			790,356	790,356
	2,986,500		202,135,658	205,122,158
	1,398,453		121,805,485	123,203,938
	610,918		59,688,109	60,299,027
				0
	646,876		912,359	1,568,499
	60,069,068		79,826,074	139,895,142
	7,942,233		2,869,748	10,823,434
	20,120,430		13,530,587	33,651,017
	627,988		14,112,041	14,740,029
			4,920,300	4,920,300
			6,529,380	6,529,380
			154,030	176,030
				0
			261,500	261,500
0	94,402,466	0	507,535,627	601,980,810

4. 県有財産

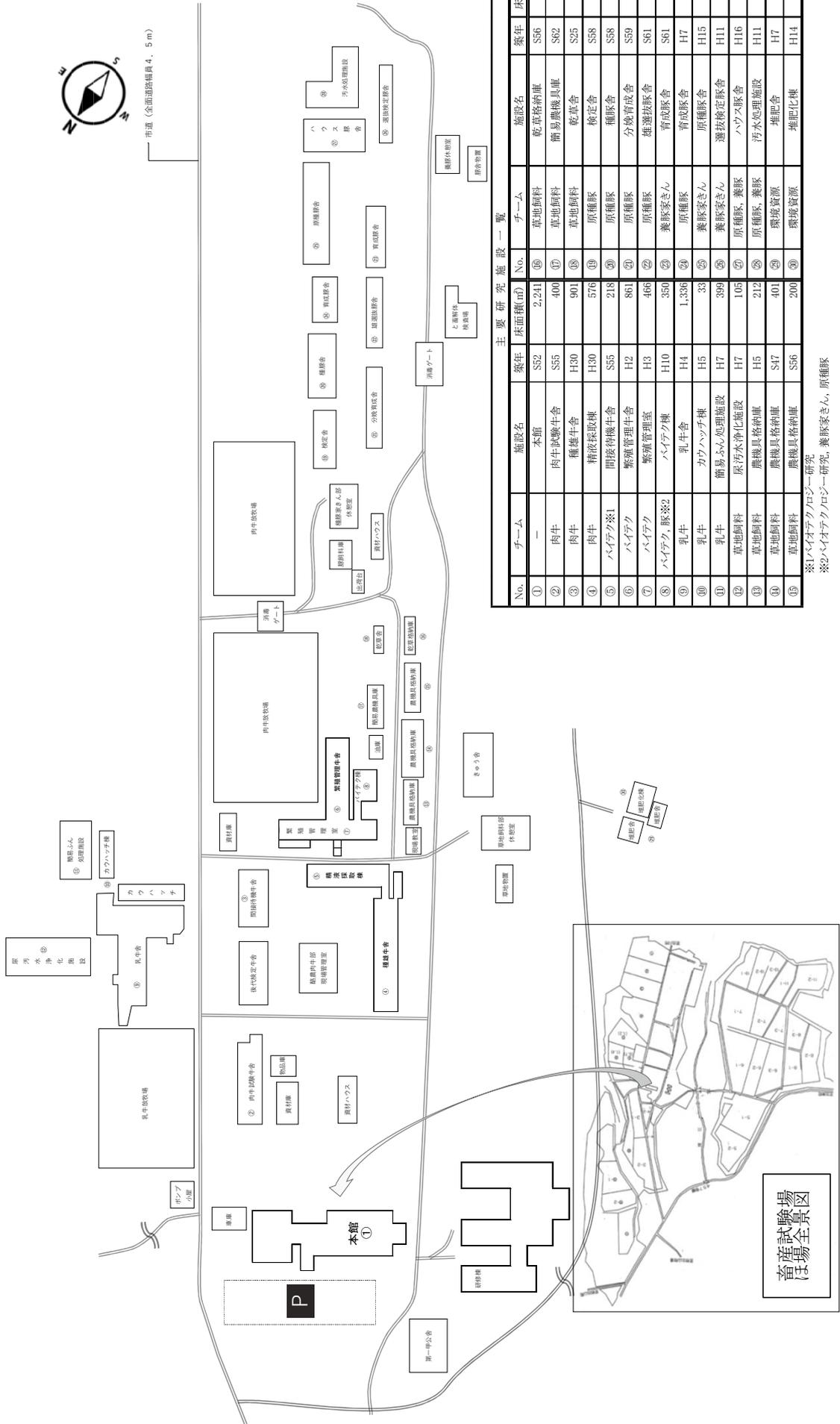
(1) 土地

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	敷 地	159,051.71 m ²	建 物
〃	圃 場	989,594.33 m ²	そ の 他
〃	山 林	9,863.00 m ²	
計		1,158,509.04 m ²	
普通財産	敷 地	8,679.74 m ²	
計		8,679.74 m ²	
合 計		1,167,188.78 m ²	

(2) 建物

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	本 館	2,240.98 m ²	二 階 建
〃	畜舎その他	15,241.01 m ²	
計		17,481.99 m ²	
普通財産	宿 舎	465.14 m ²	
計		465.14 m ²	
合 計		17,947.13 m ²	

宮城県畜産試験場配置図



主要研究施設一覧

No.	ゲーム	施設名	築年	床面積(m ²)	No.	ゲーム	施設名	築年	床面積(m ²)
①	—	本館	S52	2,241	⑩	草地飼料	乾草格納庫	S56	428
②	肉牛	肉牛試験牛舎	S55	400	⑪	草地飼料	簡易農機具庫	S62	192
③	肉牛	肉牛	H30	901	⑫	草地飼料	乾草舎	S25	198
④	肉牛	精液採取棟	H30	576	⑬	原種豚	検定舎	S58	292
⑤	ハイテック※1	閉接待機牛舎	S55	218	⑭	原種豚	種豚舎	S58	422
⑥	ハイテック	繁殖管理牛舎	H2	861	⑮	原種豚	分娩育成舎	S59	465
⑦	ハイテック	繁殖管理室	H3	466	⑯	原種豚	雄選抜豚舎	S61	255
⑧	ハイテック、豚※2	ハイテック棟	H10	350	⑰	養豚家さん	育成豚舎	S61	223
⑨	乳牛	乳牛舎	H4	1,336	⑱	原種豚	育成豚舎	H7	185
⑩	乳牛	カウハッチ棟	H5	33	⑳	養豚家さん	原種豚舎	H15	662
⑪	乳牛	簡易ふん処理施設	H7	399	㉑	養豚家さん	選抜検定豚舎	H11	251
⑫	草地飼料	尿汚水浄化施設	H7	105	㉒	原種豚、養豚	ハウス豚舎	H16	504
⑬	草地飼料	農機具格納庫	H5	212	㉓	原種豚、養豚	汚水処理施設	H11	96
⑭	草地飼料	農機具格納庫	S47	401	㉔	養豚家さん	堆肥舎	H7	163
⑮	草地飼料	農機具格納庫	S56	200	㉕	養豚家さん	堆肥化棟	H14	736

※1ハイオテククローゼー研究
 ※2ハイオテククローゼー研究、養豚家さん、原種豚

畜産試験場
ほほ全景図

編 集 委 員

福 田 純 子 高 橋 弘 晃

今 井 勇 志 半 沢 康 弘

宮城県畜産試験場年報（令和6年度）

令和7年8月発行

編集兼発行 宮城県畜産試験場
宮城県大崎市岩出山南沢字樋渡1
電話番号(0229)-72-3101
郵便番号 989-6445

